

# 全船協

会報141号 2019年8月 夏季号



練習船海王丸 鹿児島港

2017/01/27

堀ノ内 仁氏 撮影



一般社団法人 **全日本船舶職員協会**

JAPAN MARITIME OFFICERS' ASSOCIATION

無料船員職業紹介所(国土交通省許可第8号)

URL <https://www.zensenkyo.com>

## 山友汽船株式会社

代表取締役社長 望月正信

〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1番1号  
TEL (078) 371-5505 FAX (078) 371-5520  
Email: info@sanyukisen.co.jp

## B&S ENTERPRISE

株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ  
TEL (078) 361-6971 FAX (078) 361-6972  
Email: info@bands-k.com



## 北星海運株式会社

代表取締役社長 佐藤有造

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号  
セントラルビル6階  
電話 (03) 3275-5520 (代) FAX (03) 3275-5575

## 一般社団法人 日本船長協会

会長 葛西 弘樹

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3265-6641  
FAX (03) 3265-8710  
<http://www.captain.or.jp>

## 一般社団法人 海洋会

会長 平塚 惣一

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル6階)

電話 (03) 3262-8632  
FAX (03) 3262-6909



## 一般社団法人 日本船舶機関士協会

会長 掛谷 茂

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3264-2518  
E-mail: me-honbu@marine-engineer.or.jp  
URL <http://www.marine-engineer.or.jp>

## 人と海に未来を

## 公益社団法人 日本海難防止協会

会長 武藤 光一

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目1番3号  
磯村ビル6階

電話 (03) 3502-2231  
<http://www.nikkaibo.or.jp>  
E-mail: 2231jams@nikkaibo.or.jp

## 日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

試読・購読のお申し込みは  
電話 03-3436-3223 まで

<https://www.jmd.co.jp/>

## 海上の友

船員と船員家庭のタブロイド版新聞 毎月1日発行  
年間購読料 本体価格(5,916円) + 税 送料別

お申し込み  
お問い合わせ (公財)日本海事広報協会

〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6  
電話 (03) 3552-5034 FAX (03) 3553-6580

船舶、船舶装備器具及び部品の販売、輸出。作業船の  
賃貸船舶修理、検査工事の請負及びコンサルタント。

## K 2 シップマネジメント株式会社

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-13-14  
パークヴァー横浜・壹番館306

電話 : 045-290-6082 FAX : 045-290-6916  
E-mail : kani@ksh.biglobe.ne.jp

## 株式会社 コトラシステム

代表取締役 土屋 正徳

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-12-13  
日本橋船佐ビル3階

電話 (03) 3245-6975  
FAX (03) 3245-6980  
E-mail: cotrasystem@nifty.com



## 目次

表紙	… 鹿児島港入港中の海王丸夜間電飾（堀ノ内 仁 氏 撮影）	
巻頭言	… 「2019年度通常総会を終えて - 全船協の存在意義」 … 会長 酒迎 和成	2
2019年度総会議事録	.....	5
工務監督として	.....富山商船機関科 28 期生 升田万寸穂	21
『A号航海記（第3回）』	..... 栗阪 肇	23
外航海運概要-2	.....株式会社コトラシステム	28
海事ニュース	.....	34
<b>北から南から</b>		
富山高等専門学校	.....	37
鳥羽商船高等専門学校	.....	42
広島商船高等専門学校	.....	46
大島商船高等専門学校	.....	51
弓削商船高等専門学校	.....	55
海技教育機構	.....	60
第54回全国商船高等専門学校漕艇大会	..... 事務局	62
本部・支部だより	..... 事務局	64
2019年度賛助会員名簿	..... 事務局	66
会費納入者御芳名	..... 事務局	67
時事寸評・表紙写真解説・編集後記	..... 事務局	68

## ◀ 巻 頭 言 ▶

### 「2019 年度通常総会を終えて — 全船協の存在意義」

会 長 酒 迎 和 成



2019 年度通常総会は 6 月 7 日に開催され、提出した議案書は滞りなく審議

され承認されましたのでご報告します。

通常総会報告の詳細（2018 年度事業報告及び 2019 年度事業計画）は別ページに掲載していますので、ご高覧願います。

さて、昨年会長職を拝命し、1 年が経過しました。会長として初めての総会を終えて想うところを会員の皆さまにお伝えしたいと思います。

まずは本協会の置かれている現状ですが、2008 年の公益法人制度改革三法に基づき自動的に「特例民法法人」となり、それから 5 年間の猶予期間の前年の 2012 年 4 月 1 日に内閣府から「一般社団法人全日本船舶職員協会（移行法人）」として認可されました。

その時に本協会の公益目的財産は 313,620,555 円と認定され、2035 年 3 月 31 日までにゼロにすることが義務付けられました。毎事業年度の公益目的支出は約 1450 万円となっています。そして、認定された公益目的財産がゼロになった

時点で、ようやく正式な「一般社団法人全日本船舶職員協会」となります。

本協会が移行法人となって既に 7 年が経過していますが、この 7 年間の公益目的支出の計画と実績の差額（累計未達額）は約 1400 万円に増加しています。

2018 年度末の公益目的財産残額は約 2 億 3 千万円です。

内閣府に認定されている本協会の「公益目的継続事業」は次の 4 項目となります。

- (1) 海事に関する調査研究（継続事業－1）
- (2) 船員教育支援（継続事業－2）
- (3) 図書・会誌の発行及び講演等（継続事業－3）
- (4) 無料船員職業紹介事業（継続事業－4）

（2019 年度の公益目的事業計画の詳細は別ページを参照して下さい）

次に本協会の財政問題と会員の確保・維持・拡大の問題があります。

何といたっても本協会の運営の基礎は財政の健全化が最重要です。また本協会は会員あつての協会であることは論を待ちません。

昨年度にようやく、長年続いた赤字決算による基本財産（運用準備金）の取崩しに終止符を打つことができました。

これは本部を縮小し、従来の本部を賃貸とすることによる賃貸収入と会長及び

専務理事の新執行部を無報酬とした結果です。

また新規に賛助会員を募った結果、現在 27 の企業・団体となっています。そして、正会員の加入・維持・拡大ですが、年度末正会員は 1015 名です。今後の商船学科卒業生の新規加入促進及び未加入者の勧誘を精力的に進める所存です。

それでは、2018 年度と 2019 年度の活動のトピックスについてご報告致します。

昨年度のトピックスの①として、練習船の実習生から食料費を徴収するという事案に断固反対し、臨時理事会で反対決議を行い、反対の緊急アピールを海事新聞等に投稿すると共に国会議員の先生方に直訴陳情して、海技教育機構と商船系大学・高専との実施覚書調印の寸前で阻止することができました。月額 3 万 5 千円として 1 年間で 42 万円の学生の負担となる所でした。本件は引き続き注視して、断固反対して参ります。

またトピックスの②ですが、公益目的事業の商船教育支援として、5 校商船学科に対して各 90 万円、5 校合計で 450 万円を寄附しました。使用目的は商船学科振興のための学生の募集活動費用、TOEIC 受験対策費用および海外語学研修渡航費用です。

各校からは自由度の高い寄附金として感謝されています。財政困難な折ですが、会長、専務理事の執行部が無報酬とした結果、実現できたものです。

次に今年度のトピックスですが、5 校練習船代替建造促進の支援活動が最大の

課題です。

高専機構は既に文科省に対して 5 校各 1 隻の練習船代替新造計画の要求書を提出済みです。本協会は今年度 4 月の理事会で各校 1 隻の練習船代替建造を支援することを決議しました。早速、国会議員の先生方に文科省への要求書が裁可されるように陳情しているところです。その結果として 5 月末の自民党文部科学部会の高専小委員会において 5 商船練習船代替建造は不可欠であるとの提言を記載して頂くことができました。

これから財務省での予算審議、建造実現までは数年掛かると思われますが、本協会は力強い支援活動を継続していく所存です。

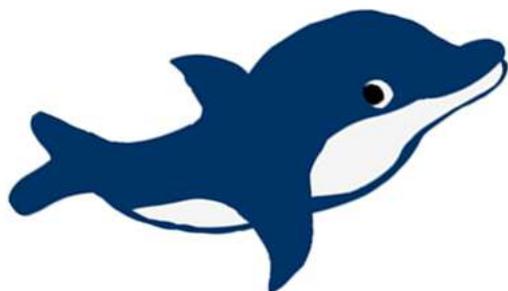
会員の皆さま、このようなロビー活動ができるのも本協会が昭和 5 年に「全国商船学校十一会」を結成、戦時の困難期を乗り越え、昭和 27 年社団法人、昭和 39 年に「大洋同志会」と合同、そして昭和 44 年に学歴、免状の種類、職種を問わず全船舶職員の組織として「全日本船舶職員協会」と改称して今日に至る長い歴史を有し、時代の節目において全国レベルの船舶職員・海技者を代表する団体として、船員の声を主張し、海運業界の中での位置を保ち続けていたからに相違ありません。

私は本協会の存在意義は何かといつも心の中で問いかけています。日本国は四面環海であり、輸出入は略 100%海運に依存しており、日本国民の生活インフラとして最重要であることは誰もが異論のないことだと思います。私は昭和 44 年の大島商船高校専攻科の卒業生ですが、卒

業後の 10 年はそれまでの右肩上がりの経済成長に支えられ日本海運も何とか国際競争の中で日本人船員の雇用も確保されていました。しかしながら急速な円高で日本人船員は国際競争力を喪失し、平成の時代はフィリピン人を中心としたアジア船員に外航船員の位置を奪われて日本人外航船員の復活を唱えてもむなしく響くばかりでした。

従って近年の商船高専の卒業生の大多数は内航海運や港湾運送関係会社に就職しているのが実情ではあります。外航海運からの需要が少ない現状ではやむを得ない事態だとは思いますが、本協会としては海運を目指す中学生を商船系高専、海上技術学校等に積極的に募集し、外航及び内航海運の安全運航を担う船舶職員養成を支援し、船員教育を振興することが本協会の存在意義であると考えています。

会員の皆さまへは今後とも本協会の運営にご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。



## 2019年度通常総会議事録

1. 開催日時 2019年6月7日(金) 14時00分～15時30分
2. 開催場所 東京都千代田区一ツ橋2-6-2  
(一財)日本教育会館(一ツ橋ホール)会議室704号
3. 出席者 総正会員数の議決権の数 1,015名  
定足数 508名  
出席正会員数 390名(本人出席19名、委任状出席371名)  
議決権のある出席正会員総数 525名(書面表決135名を含む)  
実出席理事 11名  
実出席監事 1名  
理事・監事以外の実出席者 7名

### 実出席者氏名

- ① 出席理事 酒迎和成、望月正信、飯島壽、土屋正徳、田島孝一、及川武司、柏木実、松見準、三輪史郎、師富潤、吉村重登
- ② 出席監事 加藤信一
- ③ その他の正会員出席者  
相川康明 片山清、曾我隆弘、畑内康孝、中山隆志、岩田仁、水野博之

### 4. 議長の選出及び、議事録署名人の選任、定足数の報告

定刻14時司会者に任じられた土屋正徳専務理事が開会を宣し、続いて定款第17条に基づく議長の選出を踏ったところ、司会者一任の声を受け司会者より正会員中山隆志氏の推薦があり、中山隆志氏が議長に選出された。

中山隆志氏が議長席に着き挨拶の後、議長が議事録署名人を選任したい旨を述べたところ立候補者がなく、議長より署名人候補として岩田仁氏、水野博之氏2名が推薦され、選任された。

書記には田島孝一事務局長を任命した。その後、田島書記から本日の通常総会では定款第18条の定足数508名を満たしている旨の報告がなされ、議長は本総会が成立した旨を宣した。

### 5. 物故者への黙祷

土屋正徳専務理事より昨年度7名及び本年度1名の物故者の報告があり、出席者全員で黙祷を捧げた。

6. 議事に先立ち、酒迎会長から、この一年間の活動を振り返り、積極的ロビー活動による海技教育機構の練習船での食糧金徴収阻止、又商船系高専の練習船各校1隻代替の確保に目途がついたことなどが報告され、今後も全船協として各方面への働きかけをおこなっていくとして会員各位の支援をお願いする旨の挨拶がなされ、又現在全船協が置かれている厳しい状況とそれを乗り越える策を本総会に付議しているので、ご審議を賜りたい旨挨拶があった。その後、議案審議に入った。

第1号議案 2018年度事業報告(案)について

第2号議案 2018年度決算(案)について

議長は、標記の議題について、事務局に一括して説明することを求め、土屋正徳専務理事から当期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)における事業・決算について次の書類をもって説明・報告がなされた。

- ① 貸借対照表 ② 正味財産増減計算書 ③ 事業別正味財産増減(税込・累計) ④ 収支計算書
- ⑤ 財産目録 ⑥ 財務諸表に対する注記

次いで加藤信一監事から、当該期における監査報告書が読み上げられ、当該書類が適法に処理され、且つ適法に記載され、又理事の業務執行に関し不正、違反の事実がない旨報告がなされた。監査意見として「会員の減少傾向は止まり、会員及び賛助会員の増加傾向並びに職業紹介部門の実績向上も見込まれることは評価されます」と特記された。

議長が賛否を議場に諮り、満場一致で承認可決した。

## 7. 報告事項

土屋正徳専務理事から3月23日開催した理事会の決定事項について、次の報告があった。

### 1. 2019年度事業計画(案)及び2019年度予算(案)

議長はこれについて質疑及び意見等を求めたが、特に質疑及び意見等の無いことを確認した。

以上をもって議案を終了し、望月副会長より「外航及び内航の日本人船員の確保も厳しい状況の中での会員拡大に多くを望めない今、協会の存続に対しては協会独自の資産の有効活用、現会員数相応の体制作り、組織あげての取り組みといった改革が必要であり、今年度を改革の年にすべく会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。」と閉会の挨拶が行われた後、議長は閉会を宣言し、15時30分散会した。

上記の議事の経過及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、定款第22条議事録の定めに従い、議長、出席正会員2名及び代表理事がこれに記名押印する。

2019年6月7日

議長 中山 隆志



議事録署名人

(代表理事) 酒 迎 和 成



議事録署名人

(正会員) 岩 田 仁



議事録署名人

(正会員) 水 野 博 之



## 1号議案

### 2018年度事業報告（案）

#### 1 公益目的継続事業

##### (1) 海事に関する調査研究（継続事業—1）

###### ア HTW（Human element, Training and Watch keeping：人的因子訓練当直）

第2回 HTW 専門委員会が平成30年7月3日開催、又同年7月16日から20日にかけて英国ロンドン国際海事機関(IMO)本部にて第5回 HTW 委員会が開催されました。審議結果は；

- ① 漁船員に関する資格等を定めた STCW-F 条約の包括的見直しに関する議論、漁業練習船による訓練期間の短縮について日本国提案が認められた。
- ② 疲労に関するガイドラインの見直しが審議され、改正案が最終化された。
- ③ STCW 条約に関する新規及び改正 IMO モデルコース案の検証が行われた。

###### イ MSC（海上安全委員会 IMO）

第100回海上安全委員会が平成30年12月3日から7日の日程でロンドン IMO において開催されました。

審議内容は；

- ① 船員の疲労に関するガイドラインの承認
- ② 自動運航船の国際ルールの策定

上記は2020年5月までに完了するというタイム・スケジュールが合意された

###### ウ 船員養成に関する検討会

2018年10月～12月の国土交通省海事局海技課主催の検討会を傍聴し、特に議論の中でも、実習生からの食料費の徴収についての各委員の意見を傾聴した。議論の結果、徴収については問題点が多いという認識が醸成され、徴収の中止が方向づけられた。

##### (2) 船員・商船教育支援（継続事業—2）

###### ア 商船学科振興協議会（5商船系高専商船学科長又は教授との協議会）を開催して全船協の具体的な支援活動に関して協議した。

###### イ 5商船系高専商船学科に対し、各校へ TOEIC 受験対策費用として20万円、学生募集費用として20万円、及び海外語学研修の為の渡航費用として50万円の計90万円、5校合計で450万円を寄附した。

###### ウ（独法）国立高専機構主催の「次世代の海洋人材育成に関する協議会」に委員として参画し、商船学科における日本人船員養成の重要性を主張した。

###### エ 新海事人材育成プロジェクト「海事キャリア教育セミナー」（5商船系高専の取組）に講師として参画した。講演は遠隔講義システムを利用して、5校商船学科1～3年生及び5年生計約520名を対象として行われた。

###### オ 5商船系高専校長との懇談会を開催した。学校側から練習船実習生の食料費の徴収中止について、全船協の活動への謝辞があった。上記イ、の寄附行為に関しても学校側から謝辞があった。商船学科の入学応募者の減少対策として引き続き来年度も

- 支援を継続することとした。定員割れは何としても阻止しなければならない。
- カ 商船系高専評議委員会等（富山高専及び大島商船高専）へ出身理事が参加した。
  - キ 5 商船系高専商船学科合同進学ガイダンスを後援、開催地（神戸、横浜）の中学生参加等に協力した。神戸会場には会長と神戸支部長が参加した。
  - ク 商船系高専商船学科卒業式に出身理事が参列し祝辞と優秀学生の表彰を行った。鳥羽商船高専には会長が参列し祝辞を述べた。
  - ケ 5 商船系高専の同窓会長懇談会を神戸支部にて開催した。
  - コ 弓削商船高専を会長が訪問し、商船学科の生徒に全船協のプレゼンを行った。
  - サ （独法）海技教育機構所属の練習船に「全船協文庫」として10万円を寄贈した。
  - シ （公財）帆船日本丸記念財団の「帆船日本丸保存活動」に30万円を寄附した。

(3) 図書発行／講演会／会誌発行（継続事業－3）

ア 会報の発行

会報137号、138号、139号を全会員、海事関係団体に発送した。

イ ホームページ

全船協の対外的な活動や来訪者を逐一掲載し、積極的な発信を行うと共に、求職情報を掲載する等、無料船員職業紹介所の機能として活用した。

(4) 無料船員職業紹介事業（継続事業－4）

	航海士	機関士	合計
求人	内航 9 外航 1	内航 6 外航 1	17
求職	内航 1 外航 1	外航 1	3
成立	外航 1	外航 1	2

2 収益事業（施設管理事業）

- (1) 2018年4月より、全船協所有の千代田三信ビル8階を東芳紙業（株）と建物賃貸借契約を締結し、収益事業として安定収入を得ることが出来た。

3 商船教育振興に関する活動

- (1) 衆議院議員及び参議院議員に直接面談し、商船教育振興を訴え、海事局及び海技教育機構が進めていた実習生からの食料費の徴収について中止を陳情した。
- (2) 海事振興連盟の賛助会員に入会し、総会に出席した。
- (3) 海事局長に直接面談して商船学科振興を訴え、又食料費徴収の中止をお願いした。
- (4) 文部科学大臣に直接面談し、商船教育支援【養成定員200名の維持、練習船代替建造の認可、運営交付金の維持】をお願いした。
- (5) 外航海運、内航海運各社を訪問し、商船学科振興を訴えた。商船系高専商船学科卒業生の就職が多くなっている内航海運会社からは商船高専卒業生は高く評価しているとの事であった。

- (6) 日本海事新聞に商船教育振興を訴える為、全船協会長就任挨拶文を寄稿した。又、実習生からの食料費の徴収に反対する全船協アピールを投稿し掲載された。
- (7) 日本海洋少年団連盟の役員選考委員に就任し、活動を支援することになった。

#### 4 正会員及び賛助会員の獲得と会の活性化

##### (1) 正会員の入会

- ア 2018年9月卒の5校商船学科卒業生の入会は約20名に留まった。近年の入会減少対策として、卒業前に商船学科の先生方に勧誘を依頼し、又卒業式に祝辞を述べた際に入会をお願いしたが、結果は捗々しくなかった。本年3月の学校長懇談会において、商船学科卒業生の全員入会をお願いした。
- イ 各理事から商船学科OBへの勧誘を行った。入会は約20数名程度であったが、千名割れに歯止めをかけることが出来た。事務局から過去に退会した者に対して再入会の依頼書を5校同窓会長及び全船協会長の連名でお願いしたが、結果が出なかった。3月23日の第3回理事会において理事、監事全員が積極的に勧誘することを決議した。

##### (2) 賛助会員の入会

- ア 会長、副会長及び専務理事が手分けして、外航海運、内航海運、海運関連、港湾運送、船舶管理等々の企業及び全国の水先人会を訪問し積極的に勧誘した。
- イ 賛助会員数は結果として新規13社、再加入1社現在合計21社となった。但し残念ながら水先人会の賛助会員入会は現時点では実績が出ていない。

##### (3) 協会の活性化

- ア ホームページに本部の活動状況を逐一掲載して、積極的に発信する事に努めた。
- イ 会員とのコミュニケーションの場として、ホームページの活動者紹介の欄を活用して会員の寄稿文をトライアル掲載した。今後更なる展開を検討している。
- ウ 2019年5月26日の横浜港カッターレース後に全船協主催の合同懇親会を開催することを決定し、5校の委員からなる実行委員会を組織して準備した。

会員数は下表の通りである。

推移	会員	内 訳	正 会 員				賛助会員		準会員
			本年度		前年度		個人	団体	本年度
	2018年3月31日		1019		1127		0	7	0
入会者		入会	37	47	30	32	4	14	
		再入会	10		2				
退会者		会費未納資格喪失者	0	44	114	137			
		退会者	44		23				
物故者			7	7	3	3			
	2019年3月31日		1015		1019		4	21	0

\* 賛助会員個人は会員からの変更者含む

## 5 管理部門の合理化と強化

- (1) 神戸事務所の活性化の一環として、5校同窓会長懇談会を神戸支部で開催した。
- (2) 業務執行役員全員は無報酬とすると共に事務所経費の見直しと削減に努めた。
- (3) 資産の運用に関しては運用先から適宜情報を入手し保全に努めた。
- (4) 総会 2018年度通常総会を開催した。
- (5) 理事会 2018年度第1回から第3回までの理事会を開催した。
- (6) 2018年7月に臨時理事会を開催し、新執行部の方針を決議した。又実習生からの食料費徴収に反対する決議を採択した。
- (7) 3月理事会において業務執行役員／副会長を1名選任し、副会長2名体制として管理部門を強化した。
- (8) 委員会活動
  - 企画財政委員会 会長諮問のマイクロプラスチックの問題に関して協議した。
  - 広報・HP委員会 会報記事のチェック及びHPの掲載事項を検討した。
- (9) 監査 会計・業務監査を実施した。

## 6 海事団体への参画

- (1) 役員・委員に就任している関連団体
  - ア (公財) 日本殉職船員顕彰会 理事・監事・催事委員・催事実行委員
  - イ (公社) 日本海難防止協会 理事
  - ウ (公財) 海技教育財団 理事・評議員・船員奨学生選考委員会委員
  - エ (一財) 海技振興センターHTW 調査検討委員会 委員
  - オ 東京地方船員労働安全衛生協議会 会長・事務局長
  - カ 船員災害防止協会関東支部東京地区 支部長
  - キ NPO 法人 SEILA 理事 理事
  - 新規
    - (公社) 日本海洋少年団連盟 役員選考委員会委員

以上

尚、会報141号への掲載は財産目録、財務省表に対する注記は割愛しました。

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
法人【新基準】

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	7,209,863	8,391,886	△ 1,182,023
立替金	0	24,500	△ 24,500
前払金	290,980	255,500	35,480
流動資産合計	7,500,843	8,671,886	△ 1,171,043
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
定期預金	3,165,040	3,165,040	0
基本財産郵便貯金	3,066,159	3,066,159	0
投資有価証券	217,692,800	217,692,800	0
基本財産合計	223,923,999	223,923,999	0
(2) 特定資産			
修繕積立預金	1,428,697	1,428,697	0
特定資産合計	1,428,697	1,428,697	0
(3) その他固定資産			
収益事業準備基金	22,307,247	22,307,247	0
建物	34,477,506	35,464,980	△ 987,474
ソフトウェア	586,401	580,590	5,811
什器備品	3	3	0
土地	61,976,936	61,976,936	0
保証金	800,000	800,000	0
その他固定資産合計	120,148,093	121,129,756	△ 981,663
固定資産合計	345,500,789	346,482,452	△ 981,663
資産合計	353,001,632	355,154,338	△ 2,152,706
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	45,888	11,280	34,608
前受金	593,460	131,220	462,240
預り金	90,870	59,670	31,200
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	800,218	272,170	528,048
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	0	2,300,000	△ 2,300,000
受入保証金	6,594,000	6,594,000	0
固定負債合計	6,594,000	8,894,000	△ 2,300,000
負債合計	7,394,218	9,166,170	△ 1,771,952
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	233,870,000	233,870,000	0
(うち基本財産への充当額)	223,923,999	223,923,999	0
<b>2. 一般正味財産</b>	111,737,414	112,118,168	△ 380,754
(うち特定資産への充当額)	1,428,697	1,428,697	0
正味財産合計	345,607,414	345,988,168	△ 380,754
負債及び正味財産合計	353,001,632	355,154,338	△ 2,152,706

## 正味財産増減計算書①

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

一般社団法人 全日本船舶職員協会

法人【新基準】

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	8,252,976	9,611,257	△ 1,358,281
基本財産受取配当金	8,252,976	9,611,257	△ 1,358,281
特定資産運用益	221	1,521	△ 1,300
特定資産受取利息	221	1,521	△ 1,300
受取入会金	23,000	22,000	1,000
受取入会金	23,000	22,000	1,000
受取会費	7,984,600	7,220,400	764,200
正会員受取会費	5,550,000	5,980,400	△ 430,400
賛助会員受取会費	1,300,000	350,000	950,000
終身会員会費	1,134,600	890,000	244,600
事業収益	7,159,280	525,000	6,634,280
会報広告収入	500,000	525,000	△ 25,000
不動産事業収益	6,659,280	0	6,659,280
受取寄付金	310,000	0	310,000
受取寄付金	310,000	0	310,000
雑収益	697,923	722,622	△ 24,699
受取利息	654,899	605,347	49,552
有価証券運用益	0	106,875	△ 106,875
雑収益	43,024	10,400	32,624
経常収益計	24,428,000	18,102,800	6,325,200
(2) 経常費用			
事業費	17,034,816	13,391,415	3,643,401
寄付金	4,800,000	0	4,800,000
役員報酬	825,332	3,600,000	△ 2,774,668
給料手当	3,077,166	2,732,360	344,806
福利厚生費	174,276	279,741	△ 105,465
会議費	114,228	42,725	71,503
旅費交通費	2,919,840	1,208,277	1,711,563
通信運搬費	495,860	486,794	9,066
減価償却費	919,823	536,563	383,260
建物減価償却	919,823	536,563	383,260
後援費	100,000	100,000	0
印刷製本費	635,440	614,524	20,916
新聞図書費	227,453	224,843	2,610
光熱水料費	15,498	93,815	△ 78,317
賃借料	3,700	0	3,700
諸謝金	50,116	9,000	41,116
租税公課	714,900	392,783	322,117
共益費	1,458,000	850,500	607,500
支払負担金	120,000	5,000	115,000
支払広告費	287,280	325,080	△ 37,800
委託費	0	1,780,380	△ 1,780,380
雑費	95,904	109,030	△ 13,126
管理費	7,839,673	12,303,330	△ 4,463,657
役員報酬	271,343	1,200,000	△ 928,657
給料手当	550,834	559,640	△ 8,806
退職給付費用	0	600,000	△ 600,000
福利厚生費	32,253	46,861	△ 14,608
会議費	252,547	219,329	33,218
旅費交通費	951,880	793,635	158,245

## 正味財産増減計算書②

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
法人【新基準】

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	669,245	724,767	△ 55,522
減価償却費	243,280	541,649	△ 298,369
建物減価償却	67,651	425,531	△ 357,880
ソフトウェア減価償却	175,629	116,118	59,511
消耗品費	0	9,310	△ 9,310
印刷製本費	119,619	97,693	21,926
機器賃借料	775,955	751,532	24,423
光熱水料費	356,512	446,935	△ 90,423
共益費	390,280	1,033,260	△ 642,980
賃借料	1,610,100	1,072,000	538,100
保険料	37,050	24,240	12,810
諸謝金	0	64,000	△ 64,000
租税公課	138,500	2,090,634	△ 1,952,134
支払負担金	105,000	110,000	△ 5,000
委託費	797,680	927,260	△ 129,580
機器保守料	48,600	48,600	0
雑費	488,995	941,985	△ 452,990
経常費用計	24,874,489	25,694,745	△ 820,256
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 446,489	△ 7,591,945	7,145,456
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 446,489	△ 7,591,945	7,145,456
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券売却益	0	3,698,406	△ 3,698,406
有価証券売却益	0	3,698,406	△ 3,698,406
退職給付引当金戻入	1,500,000	0	1,500,000
経常外収益計	1,500,000	3,698,406	△ 2,198,406
(2) 経常外費用			
投資有価証券売却損	0	65,550	△ 65,550
投資有価証券売却損	0	65,550	△ 65,550
経常外費用計	0	65,550	△ 65,550
当期経常外増減額	1,500,000	3,632,856	△ 2,132,856
税引前一般正味財産増減額	1,053,511	△ 3,959,089	5,012,600
法人税、住民税及び事業税	1,434,265	70,000	1,364,265
当期一般正味財産増減額	△ 380,754	△ 4,029,089	3,648,335
一般正味財産期首残高	112,118,168	116,147,257	△ 4,029,089
一般正味財産期末残高	111,737,414	112,118,168	△ 380,754
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	233,870,000	233,870,000	0
指定正味財産期末残高	233,870,000	233,870,000	0
III 正味財産期末残高	345,607,414	345,988,168	△ 380,754

# 事業別正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

一般社団法人 全日本船舶職員協会 法人【新基準】							税込 発生 単位：円
科目	法人会計	海事調査事業	商船教育	会誌発行海事に関する 図書出版	就職紹介	公的 目的事業 合計	施設管理事業
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	8,252,976	0	0	0	0	0	0
基本財産受配当	8,252,976	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	221	0	0	0	0	0	0
特定資産受利息	221	0	0	0	0	0	0
受取入会金	23,000	0	0	0	0	0	0
受取入会金	23,000	0	0	0	0	0	0
受取会費	7,984,600	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費	5,550,000	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費	1,300,000	0	0	0	0	0	0
終身会費	1,134,600	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	0	0	500,000	0	500,000	6,659,280
会報広告収入	0	0	0	500,000	0	500,000	0
施設管理収益	0	0	0	0	0	0	6,659,280
受取寄付金	310,000	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	310,000	0	0	0	0	0	0
雑収益	694,899	0	0	0	0	0	3,024
受取利息	654,899	0	0	0	0	0	0
雑収益	40,000	0	0	0	0	0	3,024
経常収益計	17,265,696	0	0	500,000	0	500,000	6,662,304
(2) 経常費用						0	
事業費	0	1,535,843	8,284,484	3,008,058	1,096,266	13,924,651	3,110,165
寄付金	0	0	4,800,000	0	0	4,800,000	0
役員報酬	0	206,333	206,333	206,333	206,333	825,332	0
給料手当	0	607,033	935,178	1,000,889	534,066	3,077,166	0
福利厚生費	0	34,684	52,660	56,684	30,248	174,276	0
会議費	0	0	114,228	0	0	114,228	0
旅費交通費	0	340,340	1,792,724	512,997	273,779	2,919,840	0
通信運搬費	0	0	5,781	490,079	0	495,860	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	919,823
建物減価償却	0	0	0	0	0	0	919,823
後援費	0	0	100,000	0	0	100,000	0
印刷製本費	0	0	0	635,440	0	635,440	0
新聞図書費	0	227,453	0	0	0	227,453	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	15,498
賃借料	0	0	3,700	0	0	3,700	0
諸謝金	0	0	0	50,116	0	50,116	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	714,900
共益費	0	0	0	0	0	0	1,458,000
支払負担金	0	120,000	0	0	0	120,000	0
支払広告費	0	0	179,920	55,520	51,840	287,280	0
雑費	0	0	93,960	0	0	93,960	1,944
管理費	7,839,673	0	0	0	0	0	0
役員報酬	271,343	0	0	0	0	0	0
給料手当	550,834	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	32,253	0	0	0	0	0	0
会議費	252,547	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	951,880	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	669,245	0	0	0	0	0	0
減価償却費	243,280	0	0	0	0	0	0
建物減価償却	67,651	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア減価償却	175,629	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	119,619	0	0	0	0	0	0
機器賃借料	775,955	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	356,512	0	0	0	0	0	0
共益費	390,280	0	0	0	0	0	0
賃借料	1,610,100	0	0	0	0	0	0
保険料	37,050	0	0	0	0	0	0
租税公課	138,500	0	0	0	0	0	0
支払負担金	105,000	0	0	0	0	0	0
委託費	797,680	0	0	0	0	0	0
機器保守料	48,600	0	0	0	0	0	0
雑費	488,995	0	0	0	0	0	0
経常費用計	7,839,673	1,535,843	8,284,484	3,008,058	1,096,266	13,924,651	3,110,165
評価損益等調整前当期経常増減額	9,426,023	△ 1,535,843	△ 8,284,484	△ 2,508,058	△ 1,096,266	△ 13,424,651	3,552,139
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	9,426,023	△ 1,535,843	△ 8,284,484	△ 2,508,058	△ 1,096,266	△ 13,424,651	3,552,139
2. 経常外増減の部						0	
(1) 経常外収益						0	
退職引当金戻	1,500,000	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	1,500,000	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	10,926,023	△ 1,535,843	△ 8,284,484	△ 2,508,058	△ 1,096,266	△ 13,424,651	3,552,139
法人住民税事業	1,364,265	0	0	0	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	9,561,758	△ 1,535,843	△ 8,284,484	△ 2,508,058	△ 1,096,266	△ 13,424,651	3,482,139
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	9,561,758	△ 1,535,843	△ 8,284,484	△ 2,508,058	△ 1,096,266	△ 13,424,651	3,482,139
II 指定正味財産増減の部						0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	9,561,758	△ 1,535,843	△ 8,284,484	△ 2,508,058	△ 1,096,266	△ 13,424,651	3,482,139

## 収支計算書①

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
法人【新基準】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	8,000,000	8,252,976	△ 252,976
基本財産配当金収入	8,000,000	8,252,976	△ 252,976
特定資産運用収入	0	221	△ 221
特定資産利息収入	0	221	△ 221
入会金収入	50,000	23,000	27,000
入会金収入	50,000	23,000	27,000
会費収入	6,500,000	7,984,600	△ 1,484,600
正会員会費収入	6,100,000	5,550,000	550,000
賛助会員会費収入	400,000	1,300,000	△ 900,000
終身会員会費	0	1,134,600	△ 1,134,600
事業収入	7,521,000	7,159,280	361,720
広告収入	400,000	500,000	△ 100,000
施設管理費収入	7,121,000	6,659,280	461,720
寄付金収入	0	310,000	△ 310,000
寄付金収入	0	310,000	△ 310,000
雑収入	520,000	697,923	△ 177,923
受取利息収入	0	654,899	△ 654,899
有価証券運用収入	500,000	0	500,000
雑収入	20,000	43,024	△ 23,024
その他の事業活動収入	0	1,500,000	△ 1,500,000
その他の事業活動収入	0	1,500,000	△ 1,500,000
事業活動収入計	22,591,000	25,928,000	△ 3,337,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	16,443,640	16,114,993	328,647
役員報酬支出	3,986,000	825,332	3,160,668
給料手当支出	3,900,000	3,077,166	822,834
福利厚生費支出	400,000	174,276	225,724
会議費支出	100,000	114,228	△ 14,228
旅費交通費支出	2,200,000	2,919,840	△ 719,840
通信運搬費支出	800,000	495,860	304,140
消耗品費支出	150,000	0	150,000
後援費支出	800,000	100,000	700,000
印刷製本費支出	660,000	635,440	24,560
新聞図書費	300,000	227,453	72,547
光熱水料費支出	0	15,498	△ 15,498
賃借料支出	400,000	3,700	396,300
共益費支出	1,574,640	1,458,000	116,640
諸謝金支出	100,000	50,116	49,884
租税公課支出	673,000	714,900	△ 41,900
負担金支出	0	120,000	△ 120,000
寄付金	0	4,800,000	△ 4,800,000
支払広告費	0	287,280	△ 287,280
委託費支出	300,000	0	300,000
雑支出	100,000	95,904	4,096
管理費支出	8,129,360	9,896,393	△ 1,767,033
役員報酬支出	1,474,000	271,343	1,202,657
給料手当支出	600,000	550,834	49,166
退職給付支出	600,000	2,300,000	△ 1,700,000
福利厚生費支出	150,000	32,253	117,747
会議費支出	100,000	252,547	△ 152,547
旅費交通費支出	500,000	951,880	△ 451,880
通信運搬費支出	200,000	669,245	△ 469,245
消耗品費支出	150,000	0	150,000
印刷製本費支出	150,000	119,619	30,381
機器賃借料支出	700,000	775,955	△ 75,955
光熱水料費支出	400,000	356,512	43,488
共益費支出	360,360	390,280	△ 29,920
賃借料支出	1,608,000	1,610,100	△ 2,100

## 収支計算書②

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
法人【新基準】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
保険料支出	10,000	37,050	△ 27,050
諸謝金支出	50,000	0	50,000
租税公課支出	327,000	138,500	188,500
負担金支出	100,000	105,000	△ 5,000
委託費支出	200,000	797,680	△ 597,680
機器保守料支出	50,000	48,600	1,400
雑支出	400,000	488,995	△ 88,995
事業活動支出計	24,573,000	26,011,386	△ 1,438,386
小計	△ 1,982,000	△ 83,386	△ 1,898,614
法人税等の支払額	0	△ 1,434,265	1,434,265
事業活動収支差額	△ 1,982,000	△ 1,517,651	△ 464,349
<b>II 投資活動収支の部</b>			
<b>1. 投資活動収入</b>			
基本財産取崩収入	1,000,000	0	1,000,000
投資有価証券売却収入	1,000,000	0	1,000,000
特定資産取崩収入	0	188	△ 188
修繕積立資産取崩収入	0	188	△ 188
固定資産売却収入	0	20	△ 20
収益事業準備基金取崩収入	0	20	△ 20
投資活動収入計	1,000,000	208	999,792
<b>2. 投資活動支出</b>			
特定資産取得支出	0	188	△ 188
積立預金支出	0	188	△ 188
固定資産取得支出	0	181,460	△ 181,460
収益事業準備基金取得支出	0	20	△ 20
ソフトウェア購入支出	0	181,440	△ 181,440
投資活動支出計	0	181,648	△ 181,648
投資活動収支差額	1,000,000	△ 181,440	1,181,440
<b>III 財務活動収支の部</b>			
<b>1. 財務活動収入</b>			
財務活動収入計	0	0	0
<b>2. 財務活動支出</b>			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>			
当期収支差額	△ 982,000	△ 1,699,091	717,091
前期繰越収支差額	0	8,399,716	△ 8,399,716
次期繰越収支差額	△ 982,000	6,700,625	△ 7,682,625

### 収支計算書に対する注記

(単位：円)

<b>1. 資金の範囲</b>	<b>科 目</b>	<b>前期末残高</b>	<b>当期末残高</b>
資金の範囲には、現金預金及び預り金を含めている。	現金預金	8,391,886	7,209,863
尚、前期末及び当期末残高は、右記に記載のとおりである			
<b>2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳</b>	<b>合 計</b>	8,391,886	7,209,863
	預り金	59,670	90,870
	<b>合 計</b>	59,670	90,870
	次期繰越収支差額	8,451,556	7,300,733

2019年4月17日

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
会長 酒 迎 和 成 殿

監事 本望隆司  
監事 加藤信一



### 監査報告書

私は、2019年4月17日に2018年4月1日から2019年3月31日までの2018年度における会計及び業務並びに公益目的支出計画の実施状況について監査を行いました。その結果について次の通り報告します。

#### 1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類及びその付属書類の明細の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書については、事業報告・計算書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて公益目的支出計画の実施状況の妥当性を検討しました。

#### 2. 監査意見

- (1) 計算書類及び付属明細書は、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告及びその付属明細書の内容は、事実であると認めます。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正行為又は法令及び定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令又は定款に従い法人の公益支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。
- (5) 会員の減少傾向は止まり会員及び賛助会員は増加傾向並びに職業紹介部門も実績向上も見込まれることは評価されます。

以上

## 2019年度 事業計画 (案)

2019年度事業計画は、公的命題である年間1451万円を超える公益目的支出計画事業を  
実行する前提で策定することが必要不可欠である。本協会の主たる事業活動収入は基本財産  
運用収入約820万円、会費収入約700万円、事業収入約820万円及びその他収入約60万円  
の合計2400万円である。従って基本的な考え方として収入の範囲内で公益目的事業支出を  
1451万円以上として、昨年度末までの公益目的支出計画累積未達額を減少させ、且つ管理  
費の支出は約750万円未満に抑えて、出来る限り資産の取崩しを避ける必要がある。上記の  
ような公的命題を踏まえて、船員教育の振興及び会員相互の親睦と人格技能向上を図るべく  
下記の通り事業計画を策定した。

尚、この事業計画に基づく2019年度予算案は別紙の通りである。

### 1 公益目的支出計画事業

#### (1) 海事に関する調査研究（継続事業－1）

- ア HTW（人的因子、訓練及び当直小委員会）調査検討に関する専門委員会へ  
参加して本協会の意見を述べると共に、情報を収集して必要事項を海事技術  
者に発信する。
- イ STCW条約等の教育訓練に係る提案に対して本協会の意見を述べると共に  
教育機関と共有の上、船員教育に役立てる。
- ウ 日本近海における海洋資源開発、具体的SOx削減対策及び二酸化炭素削減  
対策並びに省エネ取組等の情報収集を行うと共に、ホームページ等で海技技術  
者等一般社会へ発信する。

#### (2) 船員教育支援（継続事業－2）

- ア 5商船系高専商船学科支援については、5校校長懇談会及び商船学科長を中心とした  
商船学科振興協議会を開催して具体的な支援事業を実施する。  
具体的な支援事業としては、昨年と同様にTOEIC受験対策費用、学生募集対策費用  
及び海外語学研修の為の渡航費用等の支援を実施する。
- イ 国立高専における次世代の海洋人材育成に関する協議会に参加し意見を述べる。
- ウ 新海事人材育成プロジェクトー海事教育キャリアセミナーに講師として参画する。
- エ 商船系高専の運営評議委員会に出席して意見を述べる。（富山高専、大島商船高専）
- オ 5校商船学科卒業式に参列し全船協会長の祝辞を述べる。（各校出身理事代読）
- カ 5校商船学科への合同進学ガイダンスを支援する。（横浜及び神戸等にて開催）
- キ 日本人海技者の確保・育成の為の支援事業を行う。

#### (3) 図書・会誌の発行及び講演等（継続事業－3）

- ア 会報を年3回発行する。（新春号、春季号、夏季号）
- イ 講演会または座談会を継続して実施する。

ウ 協会ホームページにて、会員及び海事技術者等一般社会へ海事に関する最新情報を提供する。

エ 5校商船学科在学生に会報を無償配布する。

オ (独)海技教育機構練習船の「全船協文庫」へ新刊を寄贈する。

(4) 無料船員職業紹介事業(継続事業-4)

ホームページ及び会報にて最新の求人・求職状況を海事技術者に提供すると共に若年船舶職員の転職相談等に取り組む。

2 収益事業

2018年4月1日に開始した千代田三信ビル8階部分の賃貸事業を継続する。

3 会員の維持拡大と会の活性化

(1) 会員の維持拡大

ア 商船学科卒業生の全員入会を図る。

イ 未入会OBの入会を勧誘する。

ウ 企業・団体に賛助会員での入会をお願いする。

(2) 協会の活性化

ア 動く協会を意識し活動をホームページに掲載し、本部から会員へ発信する。

イ 本年5月26日の横浜港カッターレース終了後に5校合同の懇親会を開催する。

ウ 日本海洋少年団連盟の活動に参画し、本協会をアピールし、5校商船学科への入学を促進する。

4 本部事務所の見直し

旧本部事務所の三信ビルは賃貸として契約し収益に貢献しているところであるが、現在の本部事務所は余りにも手狭であり、且つ来客対応に苦慮するところがあるので、新たな場所にしかるべくスペースを確保することを検討する。

5 海事団体への参画

(1) 役員・委員に就任している関連団体

ア (公財)日本殉職船員顕彰会	理事・監事
イ (公社)日本海難防止協会	理事
ウ (公財)海技教育財団	理事・評議員・船員奨学生選考委員会委員
エ (一財)海技振興センターHTW 調査検討専門委員会	委員
オ 東京地方船員労働安全衛生協議会	会長・事務局長
カ 船員災害防止協会関東支部東京地区	支部長
キ NPO法人SAILA	理事
ク (公社)日本海洋少年団連盟	役員選考委員会委員
新規	
(公財)帆船日本丸記念財団	評議委員

以上

2019年度予算案

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
法人【新基準】

科 目	平成30年度 予算額	2019年度 予算	法人会計	海事調査事業	商船教育	会誌発行・海 事に関する図 書出版	就職紹介	施設管理事 業	前年予算対比
<b>I 事業活動収支の部</b>									
1. 事業活動収入									
基本財産運用収入	8,000,000	8,253,000	8,253,000	0	0	0	0	0	253,000
基本財産配当金収入	8,000,000	8,253,000	8,253,000	0	0	0	0	0	253,000
特定資産運用収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産利息収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入会金収入	50,000	20,000	20,000	0	0	0	0	0	△ 30,000
入会金収入	50,000	20,000	20,000	0	0	0	0	0	△ 30,000
会費収入	6,500,000	7,100,000	7,100,000	0	0	0	0	0	600,000
正会員会費収入	6,100,000	5,500,000	5,500,000	0	0	0	0	0	△ 600,000
賛助会員会費収入	400,000	1,100,000	1,100,000	0	0	0	0	0	700,000
終身会員会費	0	500,000	500,000	0	0	0	0	0	500,000
事業収入	7,521,000	8,215,000	0	0	0	0	0	7,715,000	694,000
広告収入	400,000	500,000	0	0	0	500,000	0	0	100,000
施設管理費収入	7,121,000	7,715,000	0	0	0	0	0	7,715,000	594,000
寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	520,000	698,000	698,000	0	0	0	0	0	178,000
受取利息収入	0	655,000	655,000	0	0	0	0	0	655,000
有価証券運用収入	500,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 500,000
雑収入	20,000	43,000	43,000	0	0	0	0	0	23,000
その他の事業活動収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業活動収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計	22,591,000	24,286,000	16,071,000	0	0	500,000	0	7,715,000	1,695,000
2. 事業活動支出									
事業費支出	16,443,640	17,750,000	0	1,652,000	9,555,000	3,215,000	1,155,000	2,173,000	1,306,360
役員報酬支出	3,986,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 3,986,000
給料手当支出	3,900,000	3,412,000	0	640,000	1,050,000	1,123,000	599,000	0	△ 488,000
福利厚生費支出	400,000	421,000	0	84,000	127,000	137,000	73,000	0	21,000
会議費支出	100,000	45,000	0	0	45,000	0	0	0	△ 55,000
旅費交通費支出	2,200,000	4,225,000	0	581,000	2,431,000	765,000	448,000	0	2,025,000
通信運搬費支出	800,000	495,000	0	0	5,000	490,000	0	0	△ 305,000
消耗品費支出	150,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 150,000
後援費支出	800,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	△ 700,000
印刷製本費支出	660,000	640,000	0	0	0	640,000	0	0	△ 20,000
新聞図書費	300,000	227,000	0	227,000	0	0	0	0	△ 73,000
光熱水料費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料支出	400,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 400,000
共益費支出	1,574,640	1,458,000	0	0	0	0	0	1,458,000	△ 116,640
諸謝金支出	100,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 100,000
租税公課支出	673,000	715,000	0	0	0	0	0	715,000	42,000
負担金支出	0	120,000	0	120,000	0	0	0	0	120,000
寄付金	0	4,500,000	0	0	4,500,000	0	0	0	4,500,000
支払広告費	0	288,000	0	0	193,000	60,000	35,000	0	288,000
委託費支出	300,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 300,000
雑支出	100,000	104,000	0	0	104,000	0	0	0	4,000
雑支出(カケレシ後の懇親会)	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000
管理費支出	8,129,360	7,644,000	7,644,000	0	0	0	0	0	△ 485,360
役員報酬支出	1,474,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,474,000
給料手当支出	600,000	537,000	537,000	0	0	0	0	0	△ 63,000
退職給付支出	600,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 600,000
福利厚生費支出	150,000	66,000	66,000	0	0	0	0	0	△ 84,000
会議費支出	100,000	400,000	400,000	0	0	0	0	0	300,000
旅費交通費支出	500,000	954,000	954,000	0	0	0	0	0	454,000
通信運搬費支出	200,000	630,000	630,000	0	0	0	0	0	430,000
消耗品費支出	150,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 150,000
印刷製本費支出	150,000	130,000	130,000	0	0	0	0	0	△ 20,000
機器賃借料支出	700,000	810,000	810,000	0	0	0	0	0	110,000
光熱水料費支出	400,000	340,000	340,000	0	0	0	0	0	△ 60,000
共益費支出	360,360	426,000	426,000	0	0	0	0	0	65,640
賃借料支出	1,608,000	1,742,000	1,742,000	0	0	0	0	0	134,000
保険料支出	10,000	37,000	37,000	0	0	0	0	0	27,000
諸謝金支出	50,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 50,000
租税公課支出	327,000	139,000	139,000	0	0	0	0	0	△ 188,000
負担金支出	100,000	105,000	105,000	0	0	0	0	0	5,000
委託費支出	200,000	798,000	798,000	0	0	0	0	0	598,000
機器保守料支出	50,000	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0
雑支出	400,000	480,000	480,000	0	0	0	0	0	80,000
他事業活動費支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他事業活動費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計	24,573,000	25,394,000	7,644,000	1,652,000	9,555,000	3,215,000	1,155,000	2,173,000	821,000
小計	△ 1,982,000	△ 1,108,000	8,427,000	△ 1,652,000	△ 9,555,000	△ 2,715,000	△ 1,155,000	5,542,000	874,000
法人税等の支払額	0	△ 1,434,000	△ 1,434,000	0	0	0	0	0	△ 1,434,000
事業活動収支差額	△ 1,982,000	△ 2,542,000	6,993,000	△ 1,652,000	△ 9,555,000	△ 2,715,000	△ 1,155,000	5,542,000	△ 560,000
<b>II 投資活動収支の部</b>									
1. 投資活動収入									
基本財産取崩収入	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,000,000
投資有価証券売却収入	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,000,000
特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益事業準備基金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収入計	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,000,000
2. 投資活動支出									
特定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益事業準備基金取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア購入支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,000,000
<b>III 財務活動収支の部</b>									
1. 財務活動収入									
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出									
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>									
当期収支差額	△ 982,000	△ 2,542,000	6,993,000	△ 1,652,000	△ 9,555,000	△ 2,715,000	△ 1,155,000	5,542,000	△ 1,560,000
前期繰越収支差額	2,255,500	6,658,000	6,658,000	0	0	0	0	0	4,402,500
次期繰越収支差額	1,273,500	4,116,000	13,651,000	△ 1,652,000	△ 9,555,000	△ 2,715,000	△ 1,155,000	5,542,000	2,842,500

# 工務監督として

平成 31 年 1 月吉日 富山商船機関科 28 期生 升 田 万寸穂

24 年前の平成 7 年 1 月 11 日、阪神・淡路の大震災を契機にその年から船舶管理工務兼海務監督業を始めた。

機関士の視点では無く海務・工務監督の立場からの経験、事故について述べる。

## 1) 近海船の転覆事故

印象に残る事故の一つに近海船の転覆、沈没、フィリピン人船員 18 名の行方不明の海難事故を思い出す。

その船は泥のような水分を多く含んだ貨物を積み、南シナ海を航行中に転覆し、E-PIRB からの信号のみが発信していた。

乗組員全員行方不明だった。その後の調査では船体に CENTER BULKHEAD が付いてなく、南シナ海の時化の中で復元能力喪失の転覆沈没だった。

## 2) タンカーの衝突事故

タンカーナフサ船 5 隻の船舶管理を行っていたとき、韓国 YOSU 港にて HANJIN の CAPE SIZE と我が本船 L1 タンカーが PILOT STATION に向かい同行していたとき（本船が少し早く前方航行）、PORT AUTHORITY の指示で機関停止、と同時に自動的に本船は左舷方向に旋回、後ろからの CAPE SIZE が本船左舷 4 番カーゴホールドに衝突、バラストタンクに大きな穴、同じくカーゴホールドにも穴が開き、ナフサが船外へ流出した。

検船で釜山まで来ていた小生は現地アンカーレージにいる本船に乗船し、その後の対応を行った。外気温度も高く、時々穴の

開いたカーゴホールドに鉄板の落下音がし、火花での着火爆発を心配した。

イナートガスを流し込み外穴に甲板上からビニールカバーを吊り下げたがガスが流出、空気より重いイナートガスは海面を辿りながら近くの島に付き、住民の 9 割に頭痛が有ったとの韓国のニュースで見た。

ナフサはバージ船にて順次シフトし、外板穴は仮修理を行った。1 か月のアンカーレージでの作業の後、航行許可を得て、韓国 HYUNDAI 造船所に入渠し、臨時検査本修理は 2 か月間を要した。

同じく、別の L1 船が空船で Singapore 補油で寄港していたとき、Singapore 海峡航行中にコンテナ船と衝突、相手船はポーランド人船長だった。相手コンテナ船の積み荷が本船に流れ込み、そのコンテナの中身はゴミであったのを覚えている。

いつもの定期検査修繕の SEMBAWANG SHIPYARD に入れ、外板修理を完了し、出港した。

## 3) コンテナ船の火災事故

香港にてコンテナ船積荷の火災事故に遭遇した。

本船は香港にて積み荷役を終了し、南に下がる航海中にカーゴホールド内のコンテナから出火、急きょ香港アンカーレージに戻り、消火活動を行った。

しかし、多くのコンテナが焼損し、沈火した。原因はコンテナの中身がガソリン機関であり、自然発火が原因だった。

#### 4) 米国での座礁事故

米国の COLOUMBIA RIVER に配船していたバルカーがグリーンカーゴを積んだ状態で座礁した。船底に大きな穴が開き、バラストタンク内に石が大量に入り、仮修理を試みたが3か月かかり、ようやく日本に寄港揚げ荷終了、修繕を行った。

#### 5) 入渠船の工期遅延

仲介業時代、フィリピンのケペルスービックに入渠していた船で他船と同時に入渠中、本船の船尾管メタル損傷を発見、その部品の納期に3か月間要し、C/P上の期限に間に合わない恐れがあった。

同時に入渠していた他船の影響もあり、工期が長引いて肝を冷やした事例であった。

#### 6) Chittagon アンカーレージの衝突事故

Bangladesh, Chittagong にて2回の衝突事故を経験。

1回目はインド人の船舶管理で船長もインド人であった。アンカーレージに入る前に沖にて一部揚げ荷役を行い、ドラフトを少なくしてアンカーレージに入った。

Port Authority の指示で他船と接近しているためシフトするように言われ、シフトを開始したが潮の流れが速く、操船不能となり、2隻と衝突。右舷救命艇を損傷したが、幸いにもCO<sub>2</sub>室はドアのみ損傷で爆発は回避できた。

中国 ZESCO に修繕入渠し、本修理完了。

2回目はベトナム人船員、他船はフィリピン人でやはり操船不能となり、衝突された。

このように工務監督として座礁、衝突、火災事故を経験してきたがその数は減らない。乗船中は海難事故を起こさない、1に安全、2に安全、3に安全と唱えながら業務を行ってきた。

しかし、船は乗るものでなく売買する物体であり、多くの船社が生き残ってきた基本であるように思える。常に採算であるそろばんを弾きながら行わないと生き残れない現状は日本人船員からヨーロッパ人、韓国人、フィリピン人、中国人、ベトナム人へと乗船船員が変化している。

“安かろう悪かろう”を追及している以上は海難事故は無くならない。

安全管理システムを見直し、現場に沿ったものを早急に作り直す必要が有る。

昨今、Singapore, 中国ではスクラバーのオープンループの使用は禁止された。既にオープンループのスクラバーを搭載した船舶の改造が必要である。

また、2020年1月から0.5%以下SULFURの燃料油の使用が開始される。適合油の価格が問題であるが各社の思いがわからない。BWTSのUSCG型式承認が既に15社となった。今後の動き及びその価格に注目である。

医学の世界に予防医学という学問が有る。KYB運動ともいわれ、KNOW YOUR BODYのことであるが海難事故予防学という学問があっても良いと考える。

どこにいくか分からない船舶の管理を行い、結局は船員任せの実態、事故は減らすことが出来るのだろうかと考える。

2018年の年末にも海難事故が多発している。殆どがヒューマンエラーである。IMOの中に海難事故予防対策委員会を設置して現状の事故防止対策を行っていただきたいものである。

以上

# A号航海記（第3回）

内海水先区水先人 会員 栗 阪 肇

## 著者略歴

1997年9月 神戸商船大学乗船実習科修了

2017年2月 内海水先区水先人会入会

航海士として陸上勤務（2回）、VLCC、LNG船、自動車船、コンテナ船、チップ船、鉱炭船と16隻。船長として石炭船、ばら積船（ハンディサイズ、パナマックス）と4隻に勤務。

「水先修業生について」会報137号2018年5月春季号

「特別授業について」会報138号2018年8月夏季号

前回まで：

一等航海士として、仕事に対する自信を無くしかけていた。乗船のため、どん底の状態で英国 Southampton へ向かったが、そこで待っていたのはチップ船A号であった。A号と航海を続けていると、少しずつではあるが心の傷が癒えていった。A号航跡は、139号をご参照下さい。

## 2-27) 西回り航海開拓

1519年9月20日、スペイン王カルロス1世からモルッカ諸島（現在のインドネシア領）への西回り航海開拓を命じられた5隻からなる冒険艦隊は大西洋を横断後、マゼラン海峡を発見する前にここラプラタ川に到着しました。1520年1月9日のことでした。

「当時はここが太平洋へ通じる海峡の入口」だと信じられていました。ラプラタ川の入口全てを調査しましたが太平洋が発見されず、絶望的になった船員たちはマゼランへの不満が爆発して、艦隊で内乱が起きました。内乱を鎮圧して、マゼラン海峡目指して再び南下開始したのが1520年8月24日でした。

私は本船でマゼラン海峡を通過してからずっとこの反乱が起こった理由が気になっていました。以下 d) から f) は私の推測です。

a) マゼラン艦隊がスペインを出発する前（1519年）、アフリカ最南端の喜望峰を回る

b) インド総督バスコ=ダ=ガマによって発見されていた。（1497年）

c) 中央アメリカの沿岸は、コロンブスによってすでに発見されていた。（1506年）

d) 世界地図で確認してもらいたいのですが、喜望峰とこのラプラタ川は同じ緯度（南緯35度）付近にある。つまり、「これより南には大陸はない」或いは「氷の大陸に直接つながっている」と考えられていた。

e) ラプラタ川は中国の揚子江や瀬戸内海のように、現在の日本人や当時（大航海時代）のヨーロッパ人にとってスケールが大き過ぎたので、海ではなくて河だと認識するのに時間がかかった。（全ての調査に7ヶ月を費やした）

f) 乗組員の食料、（給料）が底をついた。実は、本船もここラプラタ川の順番待ちに費やした時間が想定外だったので、危うく食料がなくなる寸前でした。乗組員、特に、よく食べる甲板長と操機手の不満が高まってい

ました。

フィリピン人は皆、びっくりするほどよく食べる！米がいくらあっても足りない！！

10代、20代の私にそっくりでした。

San Lorenzo で食料を大量に補給した今となつては笑い話ですので、反乱は特に f) の要因が大きく作用したのだと私は思います。

日本史の例でも「中世の農民一揆」、「近代の米騒動」が起こったのは、食料問題がからんでいたからですよね。

San Lorenzo で地ビール ISENBECK を購入しました。街のパブでは Budweiser の方が人気でした。ラベルを見ると Budweiser 社はアルゼンチンにビール工場があることが判明しました。



海図 Rio Grande

## 2-28) Rio Grande

5月15日、南ブラジル Rio Grande 沖の錨地に到着しました。岸壁の順番待ちのため仮泊しました。

5月20日から21日にかけて、スペイン向け大豆かす 12,550 トンを追加で積荷しました。半日しか停泊しなかったため、忙しさのあまり乗組員は上陸できませんでした。(深夜に入港、翌午前中に出港)岸壁の対岸(東)はマングローブが生い茂っていました。

湖 Lagoa Dos Patos と大西洋との間にある狭いところに Rio Grande があります。

Rio Grande から湖の奥 560km に別の港 Porto Alegre があります。本船だと大きすぎるので湖を Porto Alegre まで進むことができません。

Porto Alegre は、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。グアイバ川 (Rio Guaiba) の貿易港で、ブラジル南部の商工業・文化の中心地。

ドイツ系の移民が多く、農牧業地帯の中心都市で、農産物加工、輸送機械、冶金などの工業があります。南へ 220km 余りでウルグアイとの国境。1742 年創建。1808 年州都。人口 139 万です。(船長としての最後の船で再び Rio Grande に寄港し上陸しますが、それはまた別の話です)。

さて、よく見ると Porto Alegre から奥を流れるグアイバ川から運河 Canal Santa Clare が北西方向へ 7.4km わざわざ草原の中を掘ってあります。運河の先には Santa Clare 港がありました！水深は 6m なので、もしかして大航海時代のブラジルを植民地としていたポルトガル艦隊の基地だったのでないかと想像を膨らませました。

ヨーロッパも南北アメリカ大陸も河を上手に利用して港湾造りをしています。我が国の例でも、瀬戸内海諸港を始め新潟県 新潟西港など河口を利用しています。

Rio Grande 出航の時、例によって私は船首配置で部下のセーラーとともに仕事をしていました。岸壁から大西洋に向って針路 180 度 (真南) で進んでいると、右手には Rio Grande の港湾施設と教会が 1 つあり、その向こう (西側) には草原が広がっていました。

積荷である大豆かすやその他の穀物は、ブラジル国内から Rio Grande 港までは鉄道やトラックで運ばれていました。隣国からは

Rio Guaiba などの河を経由して 3,000 トンの小型船で運ばれてきていました。

西側に広がる草原のそのまた向こうに目をやると、街 Cassino がありました。Cassino は昼間だと赤や青など色とりどりの建物が並んでいきますが、夜間だと街の明かりが黄色一色に統一されていて、遠くからだ飛行場の滑走路の夜景のようで綺麗でした。Cassino の南側にはすぐ大西洋が広がり、白い砂浜 Praia dos Molhes がどこまでも続いていました。

#### 2-29) 南十字星

5月23日 1830 船内時 (2330 世界時) の船位は南緯 24 度 45 分、西経 41 度 49 分でした。

カーニバルで有名な Rio de Janeiro から南東方向へ 254km の南大西洋上です。気温は 22.5 度。半袖 1 枚では少々肌寒く、その上に 1 枚羽織ると少々暑い微妙な温度です。

日没後、私の当直航海中ふと左 45 度 (真北の方向) の水平線上へ目をやると、どこかで見たことのある星座が現れているではないですか。あの巨大な星座は、そう、「北斗七星」！ ひしゃく (斗) の底を上にした形でしたが、ひしゃくの取っ手側 (東側) に牛飼い座を確認できたので間違いありません。と言うことは、Rio de Janeiro 市民 (「カリオカ」と呼びます。) は毎日数時間ですが北斗七星を目にすることができるのです。

北斗七星は北半球でしか見ることはできないと私は今まで勘違いしていました。

本船の頭上には、毎夜のことですが南十字星が輝いていました。南十字星は北極星とは違い「天の南極 S」から約 20 度ずれて天の南の周りを回っています。十字星を眺めると、マゼラン海峡にある十字架「Cruz de los Mares」と天使の話の思い出します。

さて、東の水平線上には さそり座の心臓 アンタレスがひとときわ赤くきらめいています。一方、西の水平線上には間もなく水平線に沈もうとしているオリオン座が大きく横たわっています。今夜は天気が良いので、多くの星たちと再開することができました。まさに、「宝石箱」をひっくり返したような天蓋でした！

#### 2-30) 星座

「星座」とは、天球全体を緯度線と経度線で 88 の区分に分けたものです。1930 年国際天文学連合で協定されました。

元来は明るい恒星を群に組み合わせて色々な形に見立てたもので、バビロニア、インド、中国などで古くから作られていました。ギリシア時代に神人、動物、器具にかたどったものが今日の星座の起源で、プトレマイオス・クラウディオス (※) が 48 個にまとめました。

1603 年 J.バイヤーが南天の 12 星座を追加。以後補充・変更され現行のものとなりました。黄道上に 12、その北に 29、南に 47 あり、日本からは約 50 見ることができます。

1 つの星座の中の恒星は、一般的に明るい順に  $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ ・・・とギリシア文字のアルファベットをつけて  $\alpha$  星、 $\beta$  星、 $\gamma$  星・・・と呼びます。

※プトレマイオス・クラウディオス：英語ではトレミー。アレクサンドリアの天文・地理学者。2 世紀に活躍。アレクサンドリアで天体観測に従事。従来の天文学の知識を集成、体系化して地球中心体系に基づく「アルマゲスト」を書き、以後 14 世紀にわたって天文学の大勢を決定した。また、地球学の古典「地理学入門」では経緯度を用いて地図を作った。光学や音楽をも研究しました。

#### 2-31) 灯籠流し

5月24日0700 船内時 (0900 世界時) の船位は南緯 22 度 49 分、西経 39 度 54 分。Rio de Janeiro から東方向へ 175 海里 (324km) の南大西洋上です。

気温は 23 度、海は夏色。太陽に当たると半袖 1 枚でも十分過ごせます。

この辺りは Pampo Oilfield が幅 78km、長さ 219km に渡って広がっています。Sao Tome 岬の沖です。私の朝の当直中、この辺りを針路 040 度で北上したのですが、日出前の薄明時間に、海底から原油を採掘するオイルリグを遠くから望むと、リグの照明が黄色いものはお盆の季節 灯籠流しに登場する「灯籠舟」のようでした。

一方、白色のものは大西洋をテーブルに見立てると、その上に浮かぶまさに「銀の燭台」でした。原油採掘に伴いいくらかの原油を煙突で燃やすのですが、その炎と煙が燭台の「ろうそく」にそっくりでした。どちらも巨大な構造物なので、本船の船橋からは水平線の向こう 30 海里遠方でも夜だと視認することができます。

ブラジルは、原油のほか鉄鉱石やその他の鉱物資源が豊富なので、隣国アルゼンチンと違い農業と工業国の道を歩むことができた理由が、なるほど納得できました。



タイタニック・ポイント

## 2-32) タイタニック・ポイント

映画タイタニック (1997 年公開)、主人公と恋人の青年とが船の先端 (船首といいますが) の台上に立ち、手を横にしてポーズをとるシーンがあったと記憶しています。その場所を、タイタニック・ポイントと呼んでいました。実は、そこは入出港作業中 一等航海士が部下を指揮するための指令台だったのです。その台から下の海面を眺めたのが、写真「球状船首」です。

球状船首とは、船首の水面下となる部分に球状の膨らみを前方へ突出させたものです。これによってできる波が船体のつくる波を干渉し、造波抵抗を減少させ推進力を上げることができます。航海中、ずーっと眺めっていると海に吸い込まれそうになります。時々、その船首球状近くにイルカの群れが遊びにきます。きっと、本船の球状船首が大きなイルカの仲間 (鯨) に見えるのでしょうね。



球状船首

## 2-33) カシオペア座

5月27日0600 船内時 (0700 世界時) の船位は南緯 7 度 59 分、西経 32 度 28 分。ブラジル東岸にある Cabo Branco 岬から東方向へ 150 海里の南大西洋上です。気温は 25.5 度、海は引き続き夏色です。

針路 025 度で進んでいると、ちょうど正船

首方向に3つ星が輝いていました。水平線上には雲がかかって、さらに月が明るく全部の星を確認することができませんでしたが、確かにカシオペア座の $\alpha$ 星シエダ、 $\beta$ 星、 $\gamma$ 星でした。

カシオペア座の後ろには天の川が流れていて、向って右側（東側）の明るい星は多分アンドロメダ座の $\alpha$ 星アルフェラッツだと思います。左側（西側）にははっきりしないのですがケフェウス座がうっすらと見えていました。夜、月が明るいときと星空をはっきりと見ることができません。時々、月は太陽よりも明るいと感じるときもあります。今夜の月齢は23.7 光っている部分がお茶碗のようでした。その月の周りをうっすらと雲が覆っていました。

ギリシア神話で、エチオピア王ケフェウスの妃カシオペイアは自分の美貌（びぼう）を誇って海神ポセイドンの怒りに触れました。

そのため、カシオペイアの娘アンドロメダは国を救うために海の怪物への生けにえにされました。そこに英雄ペルセウスが現れて彼女を助けて妻としました。

ペルセウスは魔女メデュサを退治し、その帰途、エチオピアに立ち寄ったのです。メデュサの首を海の怪物（海竜）に見せると、怪物は石と化しました。ペルセウス座はカシオペア座、アンドロメダ座、ケフェウス座の近くにいるのですが、0600 時だとまだ水平線の下に隠れていました。

## 2-34) 日没

一等航海士は航海中、毎日4時から8時、16時から20時まで合計8時間の航海当直に入ります。当直とは、船橋において部下のセーラーと二人で船を操船することです。

毎朝4時から仕事をするのは正直眠たいのですが、天気が良いと日出・日没を見ることができます。本船に乗船してからの感動的

な日出・日没は、以下の3つです。

a) コロンブスに見送られながら左前に見えた日出。

b) アルゼンチンの大草原に沈む日没。

c) 毎航海ですが、西アフリカのモロッコや西サモア沖を航海している時のアフリカ大陸から昇ってくる朝日。特に力強かったのです。



# 外航海運概要-2

株式会社コトラシステム

Copyright © 2019 COTRASISTEM. All rights reserved

## 第2回 講義資料 外航海運 概要-2

鋼材の輸送形態 メリット/デメリット



2016年01月21日

海務監督 小林（記）

Copyright © 2019 COTRASISTEM. All rights reserved

### 1. 外航船の運用

#### ・ 外航船の運用形態

外航船の運用形態は以下に示す2つに大別出来る。  
※但し、船舶の所有関係等から見た場合等、必ずしも一様では無く複数の諸形態が存在する。

#### A) 定期船(ライナー)の運用

一定航路を定期的に運航。

複数の荷主からなる小ロットの様々な貨物を、一定規格で定期的に輸送できるコンテナ船等に代表される運用形態。

※寄港地、スケジュール、航行航路、運賃等が事前に公表されている。

#### B) 不定期船(トランパー)の運用

貨物の有無に合わせて随時運航。

ある貨物に対して適合する船をあてがう最も原始的な運用形態。

貨物の種類、出荷地、納入地、納期等により、船種から運賃、寄港地、スケジュール等を決定する。

※現在は貨物別の専用化、大型化が顕著。

2

## 2. 鋼材の運送形態-1

- ・鋼材輸送は不定期船？

### 鋼材の不定期船輸送

#### a) 輸送ロットが大きい

メーカーが要求する一度の輸送ロットが数千～数万トンと大きくなる場合が多い。  
大ロット一括輸送による輸送費削減のメリットが有る。  
但し、大ロット貨物の保管場所や輸送を可能とするインフラ設備の必要がある。

#### b) 貨物単体の重量、形状が大きい

貨物に合わせて船を備船するため、どのような重量、形状の貨物であっても輸送が可能。



## 2. 鋼材の運送形態-2

- ・販路拡大には定期船？

### 鋼材の定期船輸送

#### a) 小ロット輸送

定期船(コンテナ)による小ロット輸送では積、揚地での保管倉庫や、輸送インフラの整備が不要。  
保管倉庫や内陸の交通インフラ設備が不足している顧客に対する集客、販路の拡大が見込める。

#### b) 規格化への対応

一括輸送による輸送費削減が図れない(定期船公称運賃)ず、製品価格の輸送費割合が高額となる。  
また、貨物形状、重量がコンテナの規格に合致しない場合は輸送が困難。



## 参考資料1. ハブ港としての日本

現在、日本港湾全体としてのコンテナ取扱量は年々増加傾向にあるが、他の東アジア大型港湾の取扱量と相対的に比較すると、世界全体から見た日本港湾の取扱量のシェアは低下している。  
 ※ 1980年では神戸-世界4位、京浜(東京、横浜)-世界5位であったが、2014年現在では両港とも40位以下。

日本は立地的にもハブ港としての優位性を多に発揮できるはずであるが、各種料金の高騰や、設備、法整備の遅れから、他国の大規模港湾に遅れを取っている。  
 ※ 国際戦略港湾による法整備を参照のこと



(単位: TEU)

順位	1980年		2014年(速報値)	
	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量
1	ニューヨーク(米国)	1,947,000	上海(中国)	35,290,000
2	ロッテルダム(オランダ)	1,900,707	シンガポール	33,870,000
3	香港	1,464,961	深圳(中国)	24,040,000
4	神戸(日本)	1,456,048	香港(中国)	22,280,000
5	高雄(台湾)	979,015	寧波-舟山(中国)	19,430,000
6	シンガポール	917,000	釜山(韓国)	18,680,000
7	サンファン(プエルトリコ)	851,919	青島(中国)	16,620,000
8	ロングビーチ(米国)	824,900	広州(中国)	16,410,000
9	ハンブルグ(ドイツ)	783,383	ドバイ(アラブ首長国連邦)	15,250,000
10	オークランド(米国)	782,175	天津(中国)	14,050,000
11	シアトル(米国)	781,563	ロッテルダム(オランダ)	12,300,000
12	アントワープ(ベルギー)	724,247	ポートケラン(マレーシア)	10,950,000
13	横浜(日本)	722,025	高雄(台湾)	10,590,000
14	ブレーメン(西ドイツ)	702,764	大連(中国)	10,130,000
15	基隆(台湾)	659,645	ハンブルグ(ドイツ)	9,730,000
16	釜山(韓国)	634,208	アントワープ(ベルギー)	8,980,000
17	ロサンゼルス(米国)	632,784	廈門(中国)	8,570,000
18	東京(日本)	631,505	タンジュンペレバス(マレーシア)	8,550,000
19	ジェッダ(サウジアラビア)	562,792	ロサンゼルス(米国)	8,340,000
20	バルチモア(米国)	523,460	ロングビーチ(米国)	6,870,000

出版 国交省 港湾関係統計データ  
CONTAINERISATION INTERNATIONAL YEARBOOK

### 3. 製造メーカーの貿易モデル-1

- 日本をベースとした貿易のビジネスモデル

国土が狭いうえに人口が多く、しかも原料、資源の乏しい日本においては、海外から原料を仕入れ、これを加工し製品として海外に売る事により、利益を得ることが必要不可欠。



9

### 3. 製造メーカーの貿易モデル-2

- メーカーによる海外-海外貿易の販路拡大モデル

#### Case-1 第一拠点から第二拠点への出荷

第一拠点から半製品を海外に有る第二拠点へ出荷、第二拠点にて半製品を再加工、完成品として再出荷する。

製造の中間工程を海外工場に移す事により製造コストを削減する。

#### Case-2 第二拠点から海外需要家への出荷

第二拠点からの再出荷先が海外の場合は、再度海上輸送の工程が必要となる。

または、同国内第三次拠点への出荷に国内内航を利用する等、メーカーの販路拡大モデルには海上輸送が欠かせない。



10

## 4. 出荷貨物に合わせた輸送形態の選定

### ・国際複合一貫輸送 (International Multimodal Transport)

国際複合一貫輸送とは、同一の運送人が2つ以上の異なる輸送手段を用い、貨物の引受から引渡しまで一貫して輸送を行うもの。

近年、船舶、鉄道、航空機、トラックといった複数の輸送機関にまたがるサービスを一人の運送人が一貫して引き受ける複合一貫輸送が特に国際物流の分野を中心に進展している。

複合一貫輸送の最も典型的なパターンはコンテナによる海上輸送と陸上輸送(トラック、又は鉄道)によるdoor to doorの輸送である。

船社、航空会社といった幹線部分に輸送手段を保有している業者が多く参入している。

### ※複合運送人 (参考)

海陸の国際複合一貫輸送を行う複合運送人 (Multimodal Transport Operator)には、代表的なものとして以下が存在する。

a) 船会社

b) NVOCC

※Non-Vessel Operating Common Carrier :  
自身では船舶を運航しない運送人

両者は以下を複合運送書類として発行し、複合一貫輸送を行う。

a) Multimodal Transport Bill of Lading

b) Sea Waybill

c) 船荷証券(B/L)

11

## 5. 外航船と内航船の関係

### ・内航フィーダーとは

主要港と国内各地を結ぶ外貨コンテナの国内2次輸送のこと。

国内の中核港と主要港とを小型コンテナ船で接続するサービスが一般的である。

基幹航路母船の大型化が顕著であり、入港不可による母船抜港による代替輸送など補完的な役割もある。

また、輸出入の不均衡による、空コンテナの輸送にも利用されている。

### ※備考

現在東アジアの主要港へ流れている(近海外航フィーダー)コンテナ貨物を、先に説明した国際戦略港湾へ集荷するよう、現在は内航フィーダー輸送への強化が図られている。



13

## 6. 多様な輸送ルート形成

### ・ルート形成のために

多様なルート形成するためには、以下に示す各所条件が出揃った後、実現可能かを検討する必要がある。

- a) 貨物数量
- ※ 不定期船か定期船か、寄港最小ロットを把握
- b) 納期、スケジュール
- c) 積揚地の港湾、保管(倉庫)、陸送能力
- d) 各種料金                    . . . 等

様々な要因から最適な輸送手段を選定し、組み合わせる必要がある。

出荷地点、貨物ロットによっては内航フィーダー輸送を利用する場合も考慮。

### ※補足

当然のことながら最も考慮すべき事項は採算となる。

不定期船と定期船での輸送コストを比較したとき、不定期船寄港のための最小ロット数量を確保出来れば定期船での輸送より割安となる場合が多い。(case by case)

寄港のための最小ロットを確保するため、複数の港から出荷される貨物を1港に集荷し、ロットを大きくして不定期船で輸送する方法も可能であるが、左記に示した制限と、追加でかかる各種料金とで比較検討する必要がある。

## 海事ニュース

### 内航総連・栗林会長/SOx規制対応に重点。 「混乱なく切り替えを」

日本内航海運組合総連合会(内航総連)の栗林宏吉会長は6月21日、会長就任後初の記者会見を行った。今期重点的に取り組む課題として、来年1月のSOx(硫黄酸化物)規制強化への対応を挙げ、「業界として油の切り替えが混乱なくできるよう、関連業界とも打ち合わせて取り組みたい」と強調した。その上で、「肝心の価格もまだ不明で、コストの負担も一般論としては『皆で負担すべき』となるが、具体的な負担の在り方はこれからとなる」と述べた。

栗林氏は同日に開かれた通常総会後の理事会で、退任した小比加恒久会長の後任として選任された。

就任の抱負として栗林氏は「キャリアも長く、業界の知識も豊富だった小比加前会長の後任として、前会長が敷いたレールで取り組みたい。これまで内航総連の副会長、理事として長く携わってきたが、今後は会長として精いっぱい頑張っていきたい」と述べた。

課題となっている内航船員の働き方改革については「交通政策審議会海事分科会基本政策部会でも議論されていくので、国土交通省と連絡を密にしたい。船員労務という問題だけでなく、トータルで内航の在り方の見直しができれば」との見解を示した。暫定措置事業終了後の業界の在り方については「業界、内航総連の在り方を傘下5組合

の会長(内航総連副会長)とともに議論を深めていく」と語った。

(日本海事新聞 6月25日付け)

### 交政審海事分科会基本政策部会/働き方 改革へ抜本的対策を。小比加・内航総連前 会長が強調

内航海運の今後の在り方を検討する国土交通省交通政策審議会の海事分科会基本政策部会の議論が始まった。都内で6月28日に開かれた会合に出席した日本内航海運組合総連合会の小比加恒久前会長(現相談役)は「内航船員の働き方改革を社会全体にとって実のあるものにするため、内航海運全体の抜本的な対策を打ち出してほしい」と強調。他の出席者からは、強い船主(オーナー)の育成や船員の業務改善、適正なコスト負担への荷主の理解が必要といった意見が出た。

基本政策部会には有識者や荷主、内航総連の正副会長らが出席。内航船員の働き方改革や、内航海運暫定措置事業終了を念頭に置いた内航海運業のそのものの在り方、荷主との取引環境改善などについて議論し、来夏には一定の方向性を取りまとめる。

内航業界を代表して発言した小比加氏は、「若手船員を確保するためには、船内労働環境や待遇の改善などの働き方改革は必要。いかに船員という職業に魅力を持たせるかが重要なポイントだ」と述べた上で、「見直しが進めば進むほど、現在の船員数では必要な運航に支障が生じる恐れがある」と指摘した。

さらに「改革が先行するトラック業界でも、単なる労働環境改善にとどまらず、規制の

見直しや社会全般のサポートが実現している。船員の働き方改革を社会全体にとって実のあるものにするために、船員制度の見直しや、技術革新による生産性・安全性向上、荷役の在り方など荷主との関係や物流システムの見直しなど、内航の課題への抜本的な対策が打ち出されることに期待する。業界としても課題解決に取り組みたい」と語った。

一方、環境、安全対策については「内航では安全で効率的・安定的な輸送が求められるが、オペレーター(運航船社)、オーナーを含め内航事業者の規模の適正化も必要と思われる」と説明。その上で、「環境、安全対策、船員労働環境改善にコストがかかるのは必然だが、内航は多重構造で荷主への従属性が高く、コスト転嫁は容易ではない。荷主を含め社会全般で負担するのが適切で、国の対応に期待したい」との考えを示した。暫定措置事業については、「事業が終了した後も諸課題に適切に対応することが必要だ」と強調した。

小比加氏の発言後、出席委員による意見交換が行われ、「荷主に船主と共に話ができるようにするためにも、強い船主を育てていくことが必要」「適正運賃・用船料の確保が必要」「船員労働の見直しや安全教育徹底にコストがかかることへの荷主の理解が必要」「海運業界と利益相反関係にある荷主に対して適正なコスト負担を認識してもらうためには、行政の指導も必要」「荷主自体を会合に呼んで議論を深めてほしい」などの意見が出た。

(日本海事新聞7月2日付け)

## 国交省/自動運航船ガイドライン、今年度内に策定へ

国土交通省は、自動運航船の安全設計ガイドラインを今年度内にも策定する。2025年の実用化を目指し、システムを安全に稼働するための評価方法や、自動運航が故障した場合に通常の操船に戻すための手順などについて、有識者を交えて議論している。

国交省は25年までに、船員の承認の下、衝突の危険性のある船を自動操船によって回避できる技術などを可能にする「フェーズ2」の実現を目指している。AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット化)、ビッグデータなどを活用した自動運航船では、障害物の回避や他船を認識するシステムの検証を行い、稼働を確認するための手順などをガイドラインに盛り込みたい考えた。

このほか、自動運航が故障した場合に通常の操船に戻すための在り方についても検討する。

国交省は18年度に、民間企業と共に自動操船、遠隔操船、自動離着機のシミュレーションなどの実証実験を行った。自動操船の実証実験については、自動操船システムなど備えた国内初の完全電池駆動船「e-Oshima」(340総トン)を建造した大島造船所(長崎県西海市)なども国交省の「自動運航船実証事業」に選定されている。今年度も実証実験を実施する予定で、実際に船舶を運航して課題を洗い出していく。

こうしたデータなどを基にガイドラインを策定するため、同省は昨年度、海事局の海事イノベーション戦略推進本部の下に自動運航船安全検討ワーキングチーム(座長・今津隼馬東京海洋大学名誉教授)を設置。今年

度の初会合は今夏にも開く見込みだ。

自動運航船が実用化されれば、船内の作業が省力化でき、船員の負担軽減になるほか、衝突や座礁といった海難事故の減少も期待される。

(日本海事新聞7月2日付け)

### 【IMO2020 SO<sub>x</sub> 規制】海事局/適合油、運航支障なし。内航船、タンク無洗浄で補油

国土交通省海事局は7月8日、6月末に実施したSO<sub>x</sub>(硫黄酸化物)規制に対応した規制適合油を使った内航船の実船トライアル事業の結果を発表した。今回のトライアルでは、鉄鋼運搬船やセメント運搬船など計4隻により、規制適合油の切り替え作業を実施。4隻とも事前のタンククリーニングは行わず、少量のC重油が残るタンクに補油したが、運航には全く支障なく、問題は発生しなかったという。海事局ではこれを皮切りに、9月までにさまざまな船種でトライアルを行っていく。

海事局が実施した規制適合油の実船トライアルは、6月20日から参画事業者を公募し、その中から選定されたものから実施された。

今回、第1弾として行われたのは内航船499-749総トンの鉄鋼運搬船とセメント運搬船の計4隻。6月27日から約1週間、規制適合油に切り替え、外洋・瀬戸内海を含む航路で運航した。

本船には検査担当が乗船し、補油からエンジンへの燃料油の移送供給、燃焼に至るまでの状況をモニターした。航路は東京湾-太平洋-阪神-瀬戸内や東京湾-太平洋-阪神-九州北部など。

トライアルでは内航船4隻と補油を行った燃料配給船(バンカー船)について、事前のタンククリーニングは行わず、タンク内に規制適合油を補油して運航。いずれの船舶も改造することなく、規制適合油への円滑な切り替えや正常運航が確認された。

燃料の性状計測でも、少量のC重油がタンク内に残る中に規制適合油を注ぎ足して補油したが、ほぼ均一に混合されるなど、事前に計算した数値通りとなった。また適合油とC重油を混ぜた際、懸念されたスラッジ(汚泥)は発生しなかった。

海事局では今回のトライアルで得られたデータや知見について、今年3月に作成した「2020年SO<sub>x</sub>規制適合船用燃料油使用手引書」の改訂版に反映して、なるべく早いタイミングで公表していく予定。

トライアルを行う船舶については引き続き募集しており、取りまとめて第2弾、第3弾として行っていく方針。今回は貨物船だったが、海事局ではなるべく幅広くいろいろな船種でトライアルを行っていきたい考えだ。

(日本海事新聞7月9日付け)



## 富山高等専門学校

### <学校便り>

富山では例年になく温暖で降雪の少ない冬でしたが、4月に入って13年ぶりの積雪があったために、見ごろを迎えた桜が雪化粧をする珍しい春の訪れを経て、梅雨を迎えています。

### ○平成31年度入学式を挙行

4月4日、平成31年度入学式が挙行されました。賞雅校長からは「社会に出てからはなかなかできない経験にチャレンジするカレッジライフを過ごし、幅広く物事を判断できる人間に、そしてどのような社会変化にも対応できる人間に、大きく成長されることを心から願っています。」と式辞が述べられました。本科新入生代表からは、「次世代を担う学生として、これからの社会に貢献できるよう、高い志をもち邁進していきたい」と、また専攻科新入生代表からは、「社会人として必要な倫理観やグローバルな視野を身につけ、社会に貢献できる人材になれるよう、日々精進し続けることを誓います。」と誓いの言葉が述べられました。

射水キャンパスでは、本科126名、専攻科17名の新入生が新たな学校生活をスタートさせました。

### <学科新入生>

商船学科 41名

国際ビジネス学科 41名

物質化学工学科 42名

電子情報工学科 43名

電気制御システム工学科 43名

<外国人留学生(学科3年次へ)>

物質化学工学科 1名(タイ)

<編入学生>

電子情報工学科 1名

<専攻科>

エコデザイン工学専攻 28名

制御情報システム工学専攻 14名

国際ビジネス学専攻 3名

### ○商船学科集会を開催

4月17日に商船学科全学生が参加する商船学科集会が開催されました。この集会では商船学科における海事人材育成の概要や学生に必要な心構え、海事技術者として社会に出て求められることや海事産業を取り巻く状況などについて確認・議論し、学科全体で共有することを目的としています。集会後には、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ(KCC)との国際インターンシッププログラム『Ikena Kahua』に本校から参加した4名の学生による報告会が行われました。



写真1 商船学科集会の様子

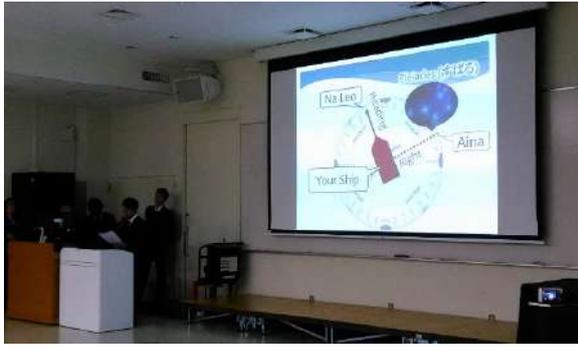


写真2 Ikena Kahua 報告会の様子



写真3 救命講習の様子

### ○東京海洋大学海王祭にて海事人材発掘のためのイベントを実施

海事・海洋分野を広報する取り組みの一環として、東京海洋大学越中島キャンパスで6月1日・2日に開催された海王祭にて、昨年度に引き続き企画展示を行いました。海王祭実行委員会と商船系高専から海洋大への編入生のサポートを受け、海運に関するパネル展示・クイズを通して、海に囲まれたわが国の海運の重要性について楽しく学べるコーナーを出展しました。近隣にお住まいのご家族や、船乗りを目指す中学生、現役の海洋大や近隣の大学生、商船系高専OBなど多くの方々にご来場頂いて、日本の海運の状況や商船系高専の存在について知ってもらおう有意義な機会になりました。

### ○海の安全教室を開催

6月12日に商船3年生を対象に、伏木海上保安部・新湊消防署の協力の下、「海の安全教室」を富山県水難救済会の主催で開催して頂きました。学生は低体温症の生理的症状やそれによる事故事例について講義形式で学んだ後に救命講習を受け、海での安全意識の向上、事故の未然防止、事故が起きた場合でも的確に対応できる知識や技術について学びました。海の安全に貢献できる人材へと成長してくれるよう期待します。

### ○本校名誉教授が令和元年春の叙勲を受章

富山商船高等専門学校名誉教授 雨宮洋司氏が瑞宝小綬章を受章されました。富山商船高等専門学校における長年の教育と研究への多大な貢献、及び富山県内への帆船海王丸の誘致に尽力されたこと等が評価されたものです。

### ○統合10周年記念式典を開催

本校は平成21年10月に富山商船高等専門学校と富山工業高等専門学校との高度化再編・統合により設置され、本年をもって10年の節目を迎えることとなりました。これを記念して、6月21日に「統合10周年記念式典・特別講演会」を挙行了しました。記念式典では、地元産業界および教育機関からの来賓・招待者、教職員及び学生等約1,650名が参加しました。賞雅校長から「これまで築かれた富山高専の新しい伝統を振り返り、また社会の要請に応じた伝統、すなわち社会や産業構造の変化・グローバル化に対応でき、またイノベーションの創出に貢献する工学・海事の技術者およびビジネスパーソンの育成を今後も継続してゆく」と式辞が述べられ、学生を代表して本郷キャンパスおよび射水キャンパス学生会長が、「統合10周年という記念すべき式典に、参加できたことに感謝し、「創意・創造」、「自主・自立」、「共存・共生」の理念のもと、「未来を創造し、その社会で活

躍できる実践力」を身につけるとともに、これから入学してくる後輩、さらには次の十年へと、その理念を受け継いでいく」と誓いの言葉を述べました。こうして 10 周年を迎えられたことは、ひとえに、皆様方のご支援とご交誼の賜物と深く感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



写真 4 記念式典の様子



写真 5 学生会長誓いの言葉

### ○北陸地区高専大会

6月22日～7月7日の日程で、石川高専主幹により開催され、本校学生も多数参加しました。本年度は、陸上部の伝統的な活躍、射水男女バスケットが昨年度に引き続き全国出場に加え、新たに射水卓球部が個人戦シングルスおよびダブルス優勝で全国大会への切符を手に入れました。

### 〈全国大会出場団体〉

本郷キャンパス

剣道女子、柔道男子

射水キャンパス

陸上男子・女子、水泳女子、  
バスケットボール男子・女子

### 〈全国大会出場個人〉

本郷キャンパス

陸上男子 2 種目

柔道男子 2 種目・女子 1 種目

水泳男子 6 種目

射水キャンパス

陸上男子 17 種目・女子 6 種目

水泳男子 1 種目・女子 6 種目

卓球男子 2 種目、柔道男子 1 種目



写真 6 北陸地区高専大会 水泳女子リレー



写真 7 北陸地区高専大会 バスケット男子



写真 8 北陸地区高専大会 快拳の卓球部



写真 9 校内カッターレース大会

### ○校内カッターレース大会を開催

令和元年度の校内カッターレース大会を7月11日(木)に実施しました。天候は不安定ではありましたが、波・風とも比較的穏やかで、各クラスとも4月より練習に取り組んだ成果を遺憾なく発揮しました。

結果は、以下のようになりました。

部門	入賞	艇
男子艇	優勝	S5 (男)
	2位	I5 (男)
	3位	K1
女子艇	優勝	K5 (A)
	2位	K3
	3位	K1
混合艇	優勝	S1 (混A)
	2位	I4 (混A)
	3位	I1 (混A)

入賞	対象
ベストチームワーク賞	I1 (混A)
ベストシーマンシップ賞	S1 (混B)
一番元気だったで賞	K3 (女子)
来年に期待しま賞	K1 (混)
グレートキャプテン賞	林先生、近藤先生

### ○第54回全国商船高等専門学校漕艇大会

7月15日(月)の海の日、富山高専主管により、富山高専臨海実習場にて開催されました。昨年度の第53回大会は、災害のため中止となり、商船高専5校が2年ぶりに集まった大会となりました。5年前に本校が主幹したときには前の臨海実習場での開催であり、今回は新しい臨海実習場での初めての全国大会となりました。

審判長である伏木海上保安部長のもと、活発なレースがくり広げられ、各校の多数の保護者も応援に来られ、大盛況の大会となりました。特に、A艇決勝では、3チームが4秒以内の大接戦となりました。

A艇	優勝	大島	準優勝	鳥羽	3位	広島
B艇	優勝	鳥羽	準優勝	広島	3位	富山



写真 10 漕艇大会 開会式



写真 11 漕艇大会 接戦の決勝



写真 12 漕艇大会 参加校全員で記念撮影

○令和元年度 7月から10月の予定

- 7月10日・17日 キャリアガイダンス(4年生)
- 7月18日 洋上救命講習(4年生)
- 7月29日 専攻科海事システム工学専攻 特別研究発表会
- 8月7日～9月18日 学生夏季休暇
- 8月7～9日 射水キャンパス夏季オープンキャンパス
- 9月20日 商船学科卒業式, 専攻科海事システム工学専攻修了式
- 9月24日 キャリアデザイン講座(2・3年生)
- 9月26日 インターンシップ報告会(4年生)
- 10月14日 ロボコン東海北陸地区大会  
(教務主事補 商船学科 福留研一)  
(学生主事補 商船学科 松村茂実)

<北斗会便り>

富山の本格的な夏の訪れを知らせる名物行事となった母校の「カッターレース大会」。今年も梅雨の晴れ間ともいえる日に富山新港東岸壁で開催されました。特に女子の活躍が目立つようになり、TV・新聞等のメディアでも大きく取り上げられています。また会場には学生の親族等の見物客も多く、レース内容とは別に大きな盛り上がりを見せていました。

今年の富山は、大相撲の「朝乃山」の幕内力士の優勝、バスケットボールの八村選手のNBAチーム入団など連日大盛り上がりを見せています。

「北斗会」は6月1日、富山電気ビルにおいて令和1年度の総会に学校長を来賓に迎えて開催しました。理事会、総会、懇親会は全国6支部長をはじめ理事、一般会員の48名の参加者で進められました。今年度の変更人事としては、北海道支部長にE36佐々木義隆、新潟支部長にN63小坂徳夫、東北支部長にE32富山仁、富山支部長にE32玉川宏が推薦されました。

今回の最大の論点は昨年からの話題に上がっていた「新富山高専同窓会」(仮称)の本格的運用開始に伴う「北斗会」の立場と今後の関係を、学校側からの説明を基に協議しました。その内容をまとめると①「新富山高専同窓会」(仮称)を近年中に本格運営を始める。②「富山高専」の学生として卒業した者は全て「新富山高専同窓会」(仮称)に入会する。③「北斗会」には卒業生からの入会金はなくなるので、運営資金としてはこれまでの預貯金と寄付金、会報掲載のバナー広告費等で賄うことになる。

同窓生の皆様にはもっと良いお知らせしたいのですが・・・

記 佐々木

## 鳥羽商船高等専門学校

### 平成 30 年度 校内就職支援セミナーを実施しました

平成 31 年 2 月 8 日（金）、鳥羽商船高等専門学校第 1 体育館にて電子機械工学科、制御情報工学科 3・4 年生、生産システム工学専攻 1 年生を対象とした、平成 30 年度校内就職支援セミナーを実施しました。

今年度は県内外から合計 68 社の企業が参加し、人事担当者や本校 OB・OG の社員が担当者として、会社の概要や業務内容についてご説明いただきました。

また、参加学生は、熱心に説明に耳を傾け、積極的に質問を行っていました。



### 平成 31 年度本科並びに専攻科（生産システム工学専攻）入学式を挙

平成 31 年 4 月 3 日（水）本校第 2 体育館において、平成 31 年度本科並びに専攻科の入学式を挙

商船学科 42 名、情報機械システム工学科 80 名の計 122 名を本科 1 年生に、留学生 1 名を制御情報工学科 3 年生に、生産システム工学専攻に 10 名の進学者を迎えました。

式では、林校長の入学許可の後、在校生が足踏みで新入生への歓迎の意を表しました。

また、林校長から「本科で五年あるいは五年半、専攻科に進む人はさらに二年間勉強し、実践的な工学の知識と技術を身につけ、創造力と協調性及びリーダーシップを備えた逞しい人間に育てて欲しいと思います。」と式辞を述べられ、新入生を代表して情報機械システム工学科と生産システム工学専攻の入学生からそれぞれ、新しいスタートにあたっての抱負が読み上げられました。



### 命を育む教育事業芸術鑑賞会の開催について

令和元年 5 月 13 日（月）、本校第 2 体育館において東京演劇集団 風による「ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち」の演劇鑑賞がありました。

20 世紀を生きたヘレン・ケラーとアニー・サリバンの実話をもとにした作品となっており、教育について、そして人間の命について考えさせられる良き学びの一環となりました。



## 男子走高跳で東海高等学校総合体育大会 出場権獲得

令和元年5月31日(金)から6月2日(日)まで、三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場において、第69回三重県高等学校総合体育大会陸上競技の部が開催されました。

本校から男子走高跳(55人がエントリー)に出場した畠田寛大君(電子機械工学科3年)が、中間試験が終了してすぐという厳しい日程の中、1m95の自身のセカンドベストタイ記録で5位に入賞しました。

この結果、畠田君は、6月21日(金)から23日(日)に、小笠山総合運動公園静岡スタジアムエコパで開催される第66回東海高等学校総合体育大会の出場権を獲得しました。

同大会でインターハイの出場権獲得にチャレンジします。



## 練習船「鳥羽丸」、航海コース5年生練習 船実習にて日高港及び阪神港神戸区中突 堤C岸壁に寄港

令和元年6月3日(月)から6月7日(金)におきまして、航海コース5年生の「鳥羽丸」実習を実施いたしました。

和歌山県御坊市日高港への寄港(6月4日から6月5日)は、本校と和歌山工業高等専門学校の間で締結された包括連携協定によるもので、昨年に引き続き2回目となります。日高港では、鳥羽丸体験航海(受託研究1件実施)を実施、一般公開では、地元の名田幼稚園・塩屋幼稚園の園児と名田小学校の児童を招いて船内見学を行いました。夕方には和歌山工業高専の学生と交流会を行い、親睦を深めました。

6月5日(水)に日高港を出港し、阪神港神戸区中突堤C岸壁に寄港(6月5日~6月6日)いたしました。神戸港への寄港は2年ぶりとなります。翌6日には学生が計画した船内一般公開を行い、平日にもかかわらず、多くの方々に見学していただきました。



(商船学科航海コース 齊心 俊憲 記)

## 鳥羽商船高専同窓会 総会だより

今年の同窓会総会は6月2日90名弱の出席のもと母校視聴覚教室で開催し、その後の懇親会は鳥羽国際ホテルで開宴しました。令和初の理事会、総会は2年に一度の役員改選期で、会長立候補者は現菅沼会長一人でした。

総会前の理事会で菅沼会長の留任で承認可決し、総会にて報告承認致しました。

そして副会長では、藤本昌之氏(S42N)、室博也氏(S55N)が退任され、後任に田中潔氏(S52N)が任命され承認されました。また加塚伸吾氏(S52E)、江崎修央氏(H4M)は前期に続いて副会長に任命され承認を受けました。その他会計監査各支部長の移動等については秋の会報で報告いたします。

昨年8月1日には母校に荣誉ある行啓を皇太子殿下(現今上陛下)に賜りました。

お迎えするにあたり校舎の化粧直しに母校に108万の寄付を実施したため、同窓会の今年の決算は73万弱資産が減少致しましたが年会費収入は2年連続で微増しました。しかし会費納入者の78%は昭和世代の卒業生です。

まだ子育て、会社業務に多忙の方も多いと思いますが、母校のため、同窓会の存続のため、会費の納入、ご寄付にご協力を宜しくお願い申し上げます。

総会に於ける母校林校長のご挨拶のなかでは、母校入学志願者を増やすため、昨年夏に同窓会の県外支部役員の皆様に集まっていたいただき、ご近所の中学、縁のある中学に学校のパンフレットの配布と広報活動をお願いした結果、志願者が増え、倍率が上がったと感謝の言葉を頂き、今年も協力を依頼されました。

練習船「鳥羽丸」も代替船の新造計画も順調に進展しつつあるとの報告がありました。

また、来賓の東京にある攻玉社学園木村同窓会長の挨拶の中では近藤真琴先生を創始者とする両校は、兄弟校の契を昭和40年に結び現代に至っております。近年は攻玉社高

校の1年生が毎年秋の修学旅行で母校を訪問し、近藤翁慰霊碑に参拝しております。

今後も両校の交流をますます深めたいとお話がありました。

菅沼会長の今年の活動方針

- 1 財政安定化と支部活性化への取り組み
- 2 母校教職員との交流の深化
- 3 寮生会、学生会との連絡懇談会
- 4 母校受験者を増やすため、学校と連絡を密にし同窓会組織で応援する
- 5 攻玉社同窓会との交流を今まで以上に密にする
- 6 全日本船舶職員協会と関係強化を図る
- 7 同窓会歌を検討する

以上の方針が菅沼会長より発表されました。

皆様のご協力よろしくお願いいたします。



昼からの懇親会は鳥羽国際ホテル海城で開催致しました。

参加者には91歳を超えた大先輩の裏山氏(S19N)、福村氏(S19/12N)から18歳の学生まで出席をいただき70歳以上の年齢差が母校創立138年の歴史を表しています。



アトラクションでは伊勢志摩支部相談役の古川昭一さんのお孫さんである古川佐保さんの音楽仲間4人が、バイオリン、チェロ、ピアノ、声楽で母校校歌、練習船の歌やその他の船歌数曲を演奏し最後には、寮の歌の会で鍛えられた有志と彼女たちのコラボは好評で他支部から遠征のお願いもあったようです。



宴の最後は次回開催地、東日本支部の福山支部長の万歳三唱で締めくくり、来年の再会を約束し、閉会いたしました。

令和元年7月9日  
同窓会事務局

# 広島商船高等専門学校

## 学校活動

### ◎第 46 回全国高校選抜卓球大会シングルス優勝

2019年3月に北九州市で開催された第46回全国高等学校選抜卓球大会において、本校流通情報工学科2年(新流通情報工学科3年)の烏田幸君がシングルス(2部)競技で優勝しました。

これは学校対抗(団体競技)などに出場していない選手によるシングルの競技になります。(写真提供:卓球王国)



### ◎ 若潮寮入寮式

4月6日(土)、若潮寮に男子76名、女子19名、合わせて95名の新入寮生を迎えました。入寮にあたって寮生会役員を中心に在寮生が荷物の運搬や受付を手伝ってくれました。13時からは寮食堂にて入寮式を執り行い、寮生活についての説明等がありました。

新寮生のみなさんも規律をしっかり守りながらも楽しく生活できる寮となることを期待します。



### ◎ 平成 31 年度入学式

柔らかな日差しの中、商船学科42名、電子制御工学科43名、流通情報工学科43名、編入学生1名、専攻科産業システム工学専攻6名が入学しました。

辻校長の「国際社会で活躍できる財産としての人材になることを目指してください。」という式辞と、白濱学生会長の「楽しく充実した学校生活を一緒に送りましょう。」という歓迎の挨拶があり、続いて流通情報工学科梨和日向さんが新入生総代として「校則を守り、学生としての本分を尽くして、社会に有為な人物となるよう努力することを誓います」と宣誓しました。



### ◎新入生歓迎会

4月15日(月)、新入生歓迎会を開催しました。寮生全員が集まる中で、新入寮生が1人ずつ自己紹介をし、新入寮生の挨拶が終わるたびに、先輩たちから大きな拍手と歓声が起こりました。



### ◎前期クラスマッチ

6月20日(木)に令和元年度前期クラスマッチを開催しました。

快晴のもと開催し、リレー、ソフトボール、バレーボール、バドミントン、ドッジボール、

気配切りの6種目を競い合い、白熱した試合が繰り広げられました。

級友と共に汗を流す中で友情を深めました。

優勝チーム等は次のとおりです。

男子リレー 流通情報工学科4年

女子リレー 第1学年

ソフトボール 流通情報工学科5年

男子バレーボール 流通情報工学科5年

女子バレーボール 1年2組, 1年3組

男子バドミントン 商船学科3年

女子バドミントン 商船学科4年

ドッジボール 2年1組

気配切り 1年3組

総合成績1位 1年3組

総合成績2位 流通情報工学科5年,  
1年2組



### ◎救急救命講習

本科1年生及び2年生を対象に「救急救命講習」を体育の授業の一環として、地元大崎上島消防署の協力を得て実施しました。

簡易型模擬人体を使い、気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ(胸骨圧迫)訓練、AEDの使い方や実際に使用しての訓練などを行

いました。学生達は、署員の指導のもと真剣な表情で取り組んでいました。



### ◎2019年度 HELIO サマープログラム

6月26日(水)、27日(木)の2日間、2019年度 HELIO (Human Ecology Lab In Osakikamijima) サマープログラムが本校で開催されました。

HELIO プログラムとは、世界の大学生が瀬戸内海を舞台に地球環境、農業、ビジネス、コミュニティ、エネルギー、平和などについて考え、世界とローカルをつなぐ21世紀型教育モデルを考え、大崎上島から世界に発信するものです。

今年度は海外(アメリカ・カナダ・メキシコなど)の大学生23名が本校に集まり、本校学生とのランチタイム交流、北野亮子氏による海藻から作る代替プラスチックを題材とした講演会、ワークショップなどを実施し、活発な議論を通して積極的に国際交流を行いました。



### ◎中国地区高専体育大会実施

7月6日(土)、7日(日)の2日間、びんご運動公園と福山ローズアリーナにおいて、第55回中国地区高等専門学校体育大会のバレーボール、柔道、テニス、硬式野球及び水泳の5種目を実施しました。各競技とも開会の前に、昨年の西日本豪雨災害により亡くなられた方への黙祷が行われました。両日とも天気に恵まれて炎天下の中、熱戦が繰り広げられ、各競技とも厳しい戦いを勝ち抜いた高専が、8月に中国地区で行われる全国大会へ出場する事となりました。また、他の競技も呉会場及び津山会場で熱戦が行われました。





### ◎前期 練習船実習

広島丸の前期「練習船実習」において、高松、大阪、神戸、土庄東、別府、伊予、徳島（小松島）、丸亀へ寄港しました。

広島丸としては、初の鳴門海峡通過と小松島港への寄港をしました。どの港においても近隣の方々が温かく迎えてくださいます。小松島港へは初入港であったこともあり、徳島県・小松島市、地元内航海運組合の方々の歓迎訪船を受け入港記念のプラークや記念品（阿波踊りの置物）をいただきました。

後期の練習船実習は、10月2日から始まります。



## 校友会

### ◎令和元年度校友会総会開催

5月18日(土)小倉市のリーガロイヤルホテル小倉に於いて、理事会・総会・懇親会が、総会出席者30名、懇親会出席者42名(委任者数519名)のもと開催されました。総会に提案された全ての議題は満場一致で承認されました。

### ◎令和元年校友追悼合祀式

本年度校友追悼合祀式を下記要領にて実施しますので、多数の会員のご参加をお願い申し上げます。尚、連絡不十分で不案内の校友が近隣に居られましたらお誘い合わせの上、ご参加ください。

#### 令和元年度校友追悼合祀式

日時 令和元年10月20日(日)12時30分

場所 本校慰霊碑広場

注:昼食を用意したいと思いますので参加の方はご連絡ください。

尚、当日の送迎は予定しておりませんのでご了承ください。

[koyukai@hiroshima-cmt.ac.jp](mailto:koyukai@hiroshima-cmt.ac.jp)

(記: N83 清田)



# 大島商船高等専門学校

平成 30 年 10 月 22 日未明に発生した、大島大橋への貨物船の衝突事故により、本学の活動に様々な影響がありました。現在、7 月 12 日早朝から車道・歩道とも通行規制の解除が予定されています。本校は、通学、通勤を含めて完全に通常の状態に戻ることができます。

お世話になりました。関係各所に対しまして、改めてお礼申し上げます。

◎平成 31 年 4 月から令和元年 6 月にかけて行われた、主な式典、教育活動、学校 PR などを中心に紹介します。

## 1. 式典・催事

### ○平成 31 年度（令和元年度）入学式挙行

平成 31 年度入学式を平成 31 年 4 月 3 日（水）に本校体育館において挙行了しました。

平成最後の入学生として、商船学科 40 名、電子機械工学科 47 名、情報工学科 46 名の合計 133 名が入学しました。また、専攻科の電子・情報システム工学専攻に 16 名が入学しました。更に、情報工学科の第 3 学年に 1 名の留学生が編入学しました。

福田校長は、新入生に対して「挨拶を交わし、言葉を交わし、多くの良き友人を作ること」「自分で考えて理解し、自分の身に付けることを意識し、人の意見にも耳を傾けること」「何か困ったり、悩んだり、判らないことがあったら、迷わず教職員に相談すること」と式辞を述べました。

続いて、商船学科の川崎薫さん及び専攻科電子・情報システム工学専攻の岡部蒼太さんが新入生を代表して、入学の宣誓を行いました。新入生はこれから始まる高専生活に期待を膨らませている様子でした。

また、当日は多くの方々から祝電をいただきました。ありがとうございました。

### ○平成 31 年度名誉教授称号授与式実施

令和元年 5 月 14 日（火）に平成 31 年度大島商船高等専門学校名誉教授称号授与式を行いました。

名誉教授の称号は、本校の充実発展に特に功労のあった方に授与しており、このたび、古本啓二氏（商船学科）と古瀬宗雄氏（電子機械工学科）が授与されました。

授与式では、福田校長が、在職中のご尽力に対して感謝の言葉を述べ、名誉教授の証書をお渡ししました。



平成 31 年度入学式の様子



名誉教授称号授与式の様子

## 2. 教育活動

### ○新入生体験航海の実施

例年、新 1 年生は本校練習船大島丸で体験航海を行っております。今年度は、平成 31 年 4 月 5 日に電子機械工学科及び情報工学科、4 月 9 日に商船学科が本校練習船大島丸で体験航海を実施しました。新入生たちはこれか

ら5年間を過ごす学校や周防大島、大島大橋を海から眺め、新しい仲間たちと船でひとときを過ごしました。また、練習船に乗ることで、商船高専に入学したという実感を持つ機会となりました。特に、商船学科の学生は今後実施される大島丸実習を楽しみにしていました。



新入生体験航海の様子：商船学科



新入生体験航海の様子：電子機械工学科



新入生体験航海の様子：情報工学科

### ○新入生合宿研修の開催

平成31年4月18日(木)、19日(金)に国立山口徳地青少年自然の家において、新入

生合宿研修を開催しました。この行事は新入生を対象として、団体行動及び共同生活の体験を通じ、教職員と学生、学生相互間の人間関係を密にするとともに、友愛・協調の精神を養い、本校での学生生活の基礎を養うことを目的とするもので、新入生・教職員合計142名が参加しました。

初日は、徳地アドベンチャー教育プログラム(TAP)を行い、新入生同士の絆を深め、夜は学科対抗の8の字跳びのレクリエーションを行いました。2日目は、豊かな徳地の自然の中、登山を行い、皆心地よい汗を流しました。2日間の合宿を通して、随所でまだ知り合ったばかりの新入生同士が助け合い、協力して物事を解決する姿が見られ、絆の深まりを感じました。



新入生合宿研修の様子

### ○ブックハンティングの開催

図書委員によるブックハンティングを、ジュンク堂書店広島駅前店の協力の下、令和元年5月25日(土)に実施しました。このイベントは、学生が書店に出向き自身で選書することによって、良書に親しみを持つとともに、教養を高めることを目的として、例年開催しています。

当日は、角田図書館長と情報工学科松村助教の引率のもと、図書委員12名が参加しました。購入する本のリストを作成していた学生など、積極的に参加していました。

なお、ブックハンティングによって選定された図書は、6月以降に校舎棟1階・臨時図書室(地域協力センター)にて貸出しを開始する予定です。



ブックハンティングの様子

### ○救命講習の受講（2年生対象）

本校の2年生131名が、柳井地区広域消防組合による普通救命講習を、令和元年5月29日（水）、31日（金）の2日間にわたって受講しました。約3時間の講習の中で、救命処置に関する講義や、心肺蘇生法及びAEDを用いた除細動の実習が行われました。

本校の保健体育授業では毎年、救命処置における心肺蘇生法の実習を通して、人命救助に積極的にかかわる意識を養うための学習を行っています。今回の講習で学生たちは講師である消防隊員の方々の話を熱心に聞き、質問にも積極的に答えており、充実した様子でした。



救命講習の様子

### ○命の尊さをテーマとした劇鑑賞会開催

本校において、令和元年6月10日（月）に演劇集団「風」による命の尊さをテーマとした劇「ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち」の鑑賞会を開催しました。この行事は学生・教職員を対象として、命の尊さをテーマ

とした劇鑑賞を通じ、友愛・協調の精神を養い、命の尊さを考えることを目的とするもので、学生・教職員約700名が参加しました。

ヘレン・ケラーとアニー・サリバンの実話をもとに、二人の出会いを、多様で個別な人と人の出会いとして描くことで、命の尊さというテーマをより明確にした作品となっています。人間としてのあり方を考えさせ、生きることの原点をみつめさせることで、人間の命の尊さについて深く考えさせられるものとなりました。



劇鑑賞会の様子

## 3. 学校PR活動

### ○平成31年度国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンス

（一社）日本船主協会主催で例年行われている、国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンス神戸会場に、令和元年6月22日（土）に参加しました。当日100名以上の参加があり、参加した中学生は、熱心に学校や授業のこと、寮生活のこと、入試のことについて聞いていました。

### ○令和元年度第1回オープンキャンパスを開催

本校において、令和元年6月15（土）に第1回オープンキャンパスを開催しました。

当日はあいにくの天候の中、山口県内や広島県、九州等の各県から245名（中学生138名）の方に参加いただきました。

第1回は、フリー形式（自由参加）で、公

開実験室や実習工場等施設、練習船の体験航海、クラブ活動等を自由に見学していただきました。参加されたみなさんには、大島商船高専の魅力をたくさん感じてもらえたのではないかと思います。

第2回オープンキャンパス（事前申込必要）は8月3日（土）に、第3回オープンキャンパス（事前申込不要）は11月2日（土）に商船祭と同時開催で実施予定です。



第1回オープンキャンパスの様子

## ◎おわりに

昨年度は、豪雨被害、大島大橋損傷など様々なことがありました。皆様のご協力のおかげをもちまして、大島大橋は、令和元年7月完全復旧しました。

現在の学校は、2箇所の改修工事が同時に行われています。①図書館棟及び情報教育センターの改修、②実習工場の改修です。

例年と同様に授業は行われていますが、授業の場所が異なったり、実習を例年より早く実施したりしています。本人の糧になるかはともかく、在学は学生の中に様々な経験を積んでいると思います。今年度末には、改修が完了します。是非新しくなった施設を見に来てください。

（教務主事補 村田 光明 記）

## ◎同窓会だより

平成元年に本校は商船学科S、電子機械工学科M、情報工学科Iの3学科体制となり、30年を超えました。

令和と改元され新たにS科40名、M科47名、I科46名の新入生を迎え、同窓会準会員として全員入会をしていただきました。

現役学生の入会ということあり、全国高専大会への出場者、7月の学生自宅災害見舞い、部活動支援等、学生への支援も同窓会として実施いたしております。

また、全船協から補助していただいた商船学科振興助成も90万円と増額していただき、学生のTOEIC受験費用、海外活動費用に活用させていただきます。紙面を借り、厚く御礼申し上げます。

（大島商船同窓会事務局 岩崎 寛希）



## 弓削商船高等専門学校

### 船舶衛生管理者「特別講義」を実施

平成31年3月4日(月)～3月8日(金)に5商船高専の商船学科4・5年生の希望者を対象に船舶衛生管理者「特別講義」を実施しました。本講義は高専機構本部と本校(世話校)が、Blue Jeans Network(テレビ会議)により5商船高専へ配信、講義を行ったものです。5日間、大学の先生をお招きし、保健指導や疾病予防等について講義をしていただきました。参加した学生は、熱心に講義を受けていました。



### 平成31年度入学式を挙行

平成31年4月6日(土)に平成31年度弓削商船高等専門学校入学式を挙行了しました。

今年度は本科入学生120名、専攻科入学生8名の計128名の学生が入学し、式場は来賓、教職員、在校生、そして新入生の保護者で埋め尽くされました。

本科入学生及び専攻科入学生が名前を呼ばれると、会場には希望と期待と緊張にあふれた大きな返事が響き、夢への強い意気込みが伝わってきました。

石田校長から、「進んで問題に取り組み解決の道を探る経験を通して、自然豊かな弓削の地で成長してくれることを願います。」と式辞がありました。

多くの保護者に見守られ、それぞれの弓削商船高専での新たな生活が始まりました。



### 新入生オリエンテーションを実施

平成31年4月7日(日)～8日(月)、大三島少年自然の家において、新入生オリエンテーションを実施しました。

オリエンテーションは、新入生を対象に学校生活及び学生としての心得を身につけることを目的として行われています。

集団行動の練習、クラスミーティング及びグループワークを行い、集団生活を送るための基礎を学びました。

また、夕食はグループに分かれて飯盒炊飯をし、カレーを作りました。慣れない料理に苦労しましたが、みんなで力を合わせて作ったカレーはとても美味しく、どのグループも自然と笑顔が溢れていました。期待と不安が入り交じったこの2日間、クラスメートとしっかり親睦を深めることができ、幸先の良い学生生活のスタートを切ることができまし

た。



### 交通安全講習会を実施

令和元年5月27日（月）伯方警察署から講師をお招きし、本校2年生を対象に、交通安全講習会を開催しました。

まず、現役の交通機動隊員から自転車に乗るにあたっての交通ルールについて説明がありました。自転車に乗る際は必ずヘルメットを被ること、あごひもをしっかり締めることなど、身の安全を守る上でとても有意義な講義となりました。

その後、管理棟前のロータリーにて、バイク（原付）通学生を対象に、実地講習が行われました。実技では、等間隔に並べられたパイロンを左右交互に通り返る練習をしました。また、細かな運転技術や日頃からの点検の大切さ、法令遵守及び安全確認などバイク（原付）を運転するにあたっての注意点について話がありました。

この講習を受け、学生たちは自転車及びバイク（原付）利用に係るルール等を再認識することができました。



### 留学生の母国紹介と日本人学生の留学体験報告

令和元年5月23日（木）アセンブリホールにおいて、2年生の学生を対象に、本校で学ぶ留学生の母国紹介と昨年度留学した日本人学生の体験報告が行われました。

マレーシアからの留学生アブさんと、ラオスからの留学生ジャイさんは、流暢な日本語で母国の紹介を行いました。また参加した日本人学生からは、文化の違いなど興味が沸いたことや疑問に思ったことなどの質問があり、留学生の話聞くことで、それぞれの母国を身近に感じられる良い機会になりました。

引き続き、「トビタテ！留学JAPAN」という海外留学支援制度を利用してオーストラリアに留学した、商船学科4年田村安志さんによる留学体験報告と本支援制度の説明が行われました。最後に、フィリピン商船大学NTMA（日本郵船株式会社設立）に留学した商船学科4年石川直樹さん、楠本春太郎さん及び山本悠太さんによる留学体験報告が行われました。今年度も6名の学生がNTMAに留学予定です。

7月18日（木）には1年生を対象に同様の発表会が行われました。



## 同窓会便り

### 令和元年度同窓会総会開催

令和元年度同窓会総会並びに懇親会を今治国際ホテルにて今治支部のお世話にて6月29日(土)に開催致しました。悪天候が予報されていた中、遠路よりご参加頂きました方々をはじめ30数名の同窓生の方々が総会、懇親会へ参加していただきました。

また翌日は奥道後ゴルフクラブにてコンペが開催されました。

来年度の総会は尾道支部にて主催、尾道グリーンヒルホテルにて6月最終土曜日開催予定です。ふるってのご参加をお待ちしております。



総会集合写真



ゴルフコンペ

## 第36回横浜カッターレース報告

5月26日日曜日に恒例の横浜カッターレースが開催され本年も3チーム弓削商船OBチームが参加いたしました。参加したチーム、結果は以下の通りです。

シニアレース 弓削商船OBはまと 4位  
 一般レース 弓削商船OBはまかぜ  
 準決勝レース 総合12位(161チーム中)  
 一般レース 弓削商船OBしらすな  
 第32レース1位着  
 一般レース 弓削商船OBかみじま

第19レース3位着  
 今年はシニアチーム、惜しくも連覇となりませんでした。4位の好成績でした。

一般レースではチームはまかぜが予選レースを突破して準決勝レースで惜しくも総合12位の結果でしたが、昨年より他2チームのしらすな、かみじま共に全体的にタイムが上がって来ています。

大会に参加及び応援参加頂きまして誠にありがとうございました。来年も弓削商船チームは参加予定ですので多くのOBのみなさま参加、また応援よろしくお祈いします。



シニアチームはまと



チームかみじま



チームしらすな



チームはまかぜ

### 同窓生 OB が船長協会より模範船長として表彰

去る5月20日、弓削商船同窓生N79期生の鍋島先輩が日本船長協会より表彰状を受けられました。優秀な模範船長ということが評価された受賞で同窓生としては大変誇らしい表彰となりましたので、OBの皆様へご紹介いたします。

添付の写真はK-lineのHP掲載のものです。同窓会HPへの掲載、写真の掲載等についてはK-line広報部から許可をいただいています。HP等もご覧ください。



鍋島先輩表彰

### おしらせ

同窓会事務局より同窓会事務局の連絡先についてご連絡をいたします。

同窓会事務局連絡先は長年学校へ在籍してE46益崎がやってまいりましたが、この度3月で学校を退職、現在は非常勤職員として勤務しており電話は今後直接つながらないこととなります。在籍の教職員の方と検討の末、事務局の仕事は継続して益崎が当分の間は行うこととしておりますが、学校での電話対応が上記の理由から直接できませんのでご承知ください。

つきましては今までの末尾が「4652」という番号の学校内の益崎の電話は、6月末の総会を区切りに利用できないものとなっております。今後は他の教員の電話番号となります。

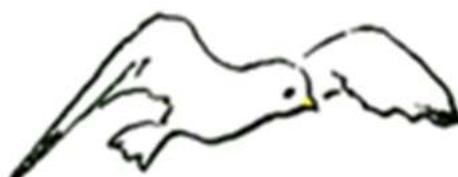
そこで同窓会の代表電話の扱いは、今後学校の代表電話にかけていただくこととなりました。そこでOB教員の担当者につないでいただくこととなりましたので、そのような方向をお願いいたします。

本誌には詳しい電話番号、担当者の掲載は

いたしません、学校代表をお調べの上、要件を伝えていただければ就職関係、同窓会関係と担当者に電話をつないでいただけるようにしています。

この内容はすでに会報誌には掲載、配布されています。会費納入がない方、住所不明となっている方には届きませんが、HP等には随時掲載してまいりますのでご覧ください。またメールであれば直接益崎にも届きますのでHP、会報等をご覧ください。

今後も同窓会の運営にご協力よろしくお願いたします。



# 海技教育機構

## ○ 青雲丸、銀河丸での長期実習を開始

4月1日から6月10日の間、高等専門学校航海科第48期81名（13名）、同じく機関科83名（8名）の高専6年生は、青雲丸へ乗船し、主に国内航海の実習を行いました。航海科実習生については、ECDIS登録海技免許講習、保存手入、海事英語、BRM訓練を含む操船実習などを、機関科実習生については、配管調査、ERS訓練を含む操機実習、海事英語、主機解放実習など、実践を重視した実習を行い、様々な技術を習得しました。実習中に、平成から令和への改元を迎え、新時代のスタートを船上で迎えました。実習中に御前崎港にて、一般公開を実施し、海事思想の普及活動へも貢献してくれました。今後、青雲丸に触れた子ども達が海事関係の学校へ入学してくれることを願うばかりです。



御前崎港での一般公開の様子



令和元年記念 航海科実習生



航海科実習生の様子 出港時の航海船橋



令和元年記念 機関科実習生

\*令和元年5月4日（土曜日）細島に入港し、天皇陛下ご即位慶祝のため、満船飾といたしました。

### <学校の内訳>

- ・航海科  
富山 19名（6名）、鳥羽 12名（1名）、大島 18名（1名）、広島 16名（4名）、弓削 16名（1名）



機関科実習生の様子 出港時の制御室

・機関科

富山 14 名 (1 名)、鳥羽 16 名 (1 名)、  
大島 15 名 (3 名)、広島 20 名 (0 名)、  
弓削 18 名 (3 名)

7 月 1 日から上記実習生は、機関科実習生  
について銀河丸へ乗船し、航海科について銀  
河丸へ一部の实習生が乗船し、その他は青雲  
丸へ乗船しています。銀河丸は、国内航海の  
訓練の後、8 月 10 日 (土) に横浜港からシン  
ガポール港へ向けた遠洋航海に出航します。

1 年間の実習の最後の 3 ヶ月実習となり、  
航海科、機関科実習生は、今後の進路である  
就職、進学等の将来の糧となるように日々実  
習に励んでいます。

令和元年 7 月から 9 月までの乗船実習の予  
定は次のとおりです。

・日本丸

7/21 大学 (東京) 1 年乗船、7/24 東京発、  
8/1~8/5 室蘭、8/10~14 塩釜、8/19 神戸着、  
8/20 大学 (東京) 1 年下船、8/22 大学 (神  
戸) 2 年乗船、8/24 神戸発、8/31~9/4 広島、  
9/9~14 横須賀、9/20 東京着、9/21 大学 (神  
戸) 2 年下船

・海王丸

海上技術短期大学校 (清水) 2 年  
7/1 乗船、7/5 東京発、7/12~16 清水、7/22  
~26 宇野、8/2~6 四日市、8/19~23 小樽、  
8/29~9/2 苫小牧、9/9~9/13 横浜 (9/10 下  
船)、入渠

・大成丸

海上技術学校 (乗船実習科) 4 年  
海上技術短期大学校 (宮古) 2 年  
7/1 乗船、7/3 東京発、7/13~17 神戸、7/26  
~31 小樽、8/6~10 函館、8/16~20 室蘭、  
8/29~9/2 横須賀、9/9 東京着、9/10 下船

・銀河丸

大学 (航海科) 5 年  
高等専門学校 (航海科・機関科) 6 年  
7/1 乗船、7/5 東京発、7/12~18 函館、7/25  
~30 室蘭、8/3~10 横浜、8/22~27 シンガ  
ポール、9/9~13 神戸、9/10 下船、入渠

・青雲丸

高等専門学校 (航海科) 6 年  
大学 (機関科) 5 年  
海技大学校 (航海科、機関科) 2 年  
海技大学校専修 (航海科、機関科) 2 年  
海上技術学校 (乗船実習科) 4 年  
7/1 乗船、7/3 神戸発、7/9~13 宇野、7/19 神  
戸着、7/21 大学 (東京) 1 年乗船、7/24 神  
戸発、7/30~8/2 釧路、8/10~14 函館、8/19  
神戸着、8/20 大学 (東京) 1 年下船、8/22 大  
学 (神戸) 2 年乗船、8/24 神戸発、8/29~9/3  
名古屋、9/9 横浜着、9/10 下船、9/14 横浜  
発、9/20 東京着、9/21 大学 (神戸) 2 年下  
船

\*練習船の予定は、天候やその他の事由によ  
り予告なく変更がございます。10 月以降の練  
習船の予定は、ホームページ等にてご確認下  
さい。

○ 海技教育機構研究発表会

9 月 30 日 (月)、第 6 回海技教育機構研究  
発表会を神奈川中小企業センタービルにて  
開催いたします。入場料は無料、事前登録も  
不要ですので、参加をご希望の方は直接ご来  
場ください。詳細は今後当機構ホームページ  
にてお知らせいたします。

~練習船行動予定や学校行事はこちらから  
~

海技教育機構は、ホームページ及び Facebook  
等の SNS を活用し、業務運営に関する情報、  
練習船における実習状況ならびに各寄港地  
でのイベント情報を発信しています。

是非ご覧ください。

HP: <http://www.jmets.ac.jp>

そのほか、日々の模様は Facebook から  
もご覧いただけます。懐かしい光景を目にする  
ことができるかと思えます。実習生や乗組員  
への応援メッセージもよろしくお願いた  
します。

企画調整部企画課 長渕光司

# 第54回 全国商船高等専門学校 漕艇大会

専務理事 土屋正徳

2019年7月13日～15日に全国5商船高専の漕艇大会が富山高等専門学校臨界実習所にて開催されました。

13日、14日は練習日で本戦は15日午前9時45分より開始、当日は梅雨の真っ只中であつたが、15日のみ曇り空で競技天候としては恵まれました。

9時15分より開会式、富山高等専門学校 賞雅校長より開会の宣言あり、これを受けて前回優勝校の鳥羽商船高専より優勝旗返還、そして選手宣誓と続き、熱戦の火蓋は切られました。

コースは全長1500メートル、750メートル点に設置された回頭旗を左回り(反時計方向)に回頭して750メートル先のゴール(スタート地点)へと向かう航程であつた。

当日は北よりの風がやや強く、漕艇を定位置に着けるのに若干時間を要したが予定通りの時間でスタート、各校応援団が大声で激励を飛ばしていた。

結果は：優勝 大島商船、2位 鳥羽商船、3位 広島商船、4位 富山高専、5位 弓削商船の順位でした。

閉会式では審判長として伏木海上保安部長 伏木富山港長が任じられ、寸評が講じられた。

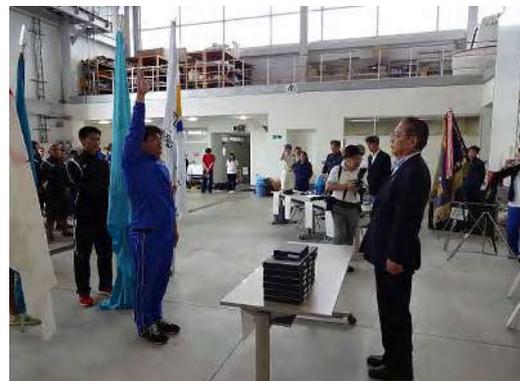
優勝旗授与、表彰状と、それぞれのチームに賞雅校長より手渡された。

最後に校内練習船“若潮丸”を背景に全員で記念写真に納まり、無事競技会は終了となりました。

富山高専の艇員は男女混合チーム(他チームも在り)で女子クルーの比率が高く、観戦していて力負けの様な感じが見受けられたが、オールの漕ぎ方と掛け声はピッタリで気持ちの良い走りであつた。



開会式 選手整列



選手宣誓!



出廷前の艇指揮より注意喚起



決勝戦で大島商船艇ゴールイン



スタートラインで横風に煽られて苦戦



決勝戦後に岸壁に戻って来た鳥羽商船艇



一斉にスタート



閉会式

## 本部・支部だより

### <本部便り>

- 2019/4/2 帆船日本丸記念財団 金近会長訪問  
(酒迎)
- 2019/4/3 国土交通省海難審判所古城達也主席海  
難審判官、前久保克己氏着任挨拶来会  
2019/4/3 (独)海技教育機構野崎理事長、久門理  
事、村松理事訪問 (酒迎)
- 2019/4/3 郵船ナブテック(株)村田社長訪問 (酒  
迎)
- 2019/4/3 横浜市港湾局中野新局長、下村副局長  
訪問 (酒迎、土屋)
- 2019/4/3 横浜海洋福祉協会相川会長、赤嶺副会  
長訪問 (酒迎、土屋)
- 2019/4/10 第 45 回総合海洋政策本部参与会議
- 2019/4/16 (公財)日本殉職船員顕彰会第 11 回催事  
委員会 (田島)
- 2019/4/17 本望・加藤両監事により 2018 年度の  
業務及び会計監査実施
- 2019/4/18 船員災害防止協会関東支部事務局長  
原田氏退任挨拶来会 (田島)
- 2019/4/19 執行役員会開催
- 2019/4/19 2019 年度第 1 回 HTW 調査検討専門  
委員会 (土屋)
- 2019/4/20 2019 年度第 1 回理事会開催
- 2019/4/24 赤池誠章参議院議員面談 (酒迎)
- 2019/4/25 国際船員労務協会赤峯会長、日本海洋  
科学赤峯社長面談 (酒迎、土屋)
- 2019/4/25 海洋立国懇話会平成 31 年(令和元年)  
度通常総会 (酒迎)
- 2019/5/14 (一社)海洋会横浜支部春季懇親会に  
出席 (酒迎)
- 2019/5/15 第 49 回戦没・殉職船員追悼式(観音崎)  
参列献花(戦没船員は 6 万 643 人、殉  
職船員 2 千 971 人、総計 6 万 3 千 614  
人の御霊が奉安) (酒迎、飯島、田島)
- 2019/5/23 (一社)日本船舶機関士協会総会後懇  
親会 (土屋)
- 2019/5/26 全船協主催 5 商船高専合同懇親会を  
開催 横浜港カッターレース終了後  
に横浜県民ホール英一番館にて 5 校商  
船系高専同窓会、船舶職員、海技者、  
海洋少年団、ご家族等、総数 210 名の  
参加。来賓を代表し、参議院議員赤池  
誠章先生及び国土交通省水嶋智海事局  
長にご挨拶を賜りました。
- 2019/5/27 衆議院議員岸信夫先生面談 (酒迎)
- 2019/5/27 執行役員会 (酒迎、望月、飯島、土屋、  
田島)
- 2019/5/28 国際船員労務協会訪問 (酒迎・土屋)
- 2019/6/7 2019 年度総会(日本教育会館 704 会議  
室)出席会員数 390 名(本人出席 19 名、  
委任状出席 371 名)書面表決 135 名。
- 2019/6/17 「海事関係団体赤池まさあき後援会」  
(海運ビル)主催の一員として参列。  
(酒迎)
- 2019/6/17 (公財)日本海難防止協会定時社員総  
会・第 1 回臨時理事会 (酒迎)
- 2019/6/18 全日本海員組合 森田組合長訪問面  
談 (酒迎、土屋)
- 2019/6/18 執行役員会(酒迎、飯島、土屋、田島)
- 2019/6/21 (一社)海洋会総会後の懇親会参加 (田  
島)
- 2019/6/21 富山高等専門学校の統合 10 周年記念  
式典(富山芸術文化ホール・オーバ  
ードホール) (土屋)
- 2019/6/25 千代田三信ビル管理組合法人総会(土  
屋)
- 2019/6/27 Windows10 へのラディックスと打合  
せ (酒迎、土屋、田島)
- 2019/6/27 「海の日月間」東京地区実行委員会(田  
島)
- 2019/6/28 第 128 回関東船員災害防止連絡会議  
(田島)
- 2019/6/28 ゆり社会保険労務士事務所と業務打  
合せ (田島)
- 2019/7/15 第 54 回全国商船高等専門学校漕艇大  
会開催 (土屋)

- 2019/7/17 2019 年度商船学科振興協議会を開催
- 2019/7/17 大島商船高専の千葉商船学科長来会
- 2019/7/18 帆船日本丸及び日本郵船氷川丸訪問  
視察(酒迎)
- 2019/7/31 株式会社アキタフーズ代表取締役社  
長秋田善祺氏新造クルーザーの船  
長・機関長募集協力依頼の為来会  
(土屋・田島)



### <神戸支部>

- 2019/4/11 JX オーシャン(株)CAPT・西本氏、  
八馬汽船(株)機関長川上氏「写真展 波  
濤を越えて 神戸展」案内状持参
- 2019/4/17 海洋少年団姫路支部の指導員募集の  
メールあり、関係先に周知。
- 2019/4/26 海王丸出港式 13:00～1 突一C
- 2019/5/12 神戸港カッターレース
- 2019/5/17 写真展「波濤を越えて 2019 神戸展」  
オープンセレモニー
- 2019/5/22 合同進学ガイダンスのパンフ配り  
(市内 11 中学校訪問)
- 2019/5/24 葉山汽船(株)梅谷氏 写真展参列のお  
礼に来室  
定例会出席者 2 名、合同進学ガイ  
ダンスのパンフ配り市内 8 中学校
- 2019/5/29 (一社)日本船舶機関士協会神戸支部  
副会長福島廉一氏退任挨拶来室
- 2019/6/5 大阪湾水先人会員の年度会費請求書  
作成
- 2019/6/14 神戸海難防止研究会総会、懇親会
- 2019/6/17 大阪湾水先人会香田氏に会費徴収書類  
依頼
- 2019/6/22 合同進学ガイダンス 三宮コンベン  
ションビル参加者 119 名
- 2019/6/24 定例会出席者 6 名
- 2019/6/28 内海水先人会長末岡氏と面談、退会者、  
未入会者への再入会の書類を託す
- 2019/7/10 内海水先人会 50 名分の年度会費徴収  
書類作成
- 2018/7/16 海の日の祭典 ホテルオークラ
- 2019/7/24 内海水先人会に会費集金に伺う
- 2019/7/26 定例会出席者 5 名

2019年度賛助会員名簿(順不同) 当協会の活動にご支援を頂き、感謝申し上げます。

	団体・企業名	住 所		
		連絡先&HP	電 話	HP URL
1	広島商船校友会	住 所	〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町4272-1 広島商船高専内	
		連絡先&HP	電話 08466-5-3899	HP <a href="https://koyukai.wixsite.com/tayori">https://koyukai.wixsite.com/tayori</a>
2	弓削商船高専同窓会	住 所	〒794-2506 愛媛県越智郡弓削町下弓削1000弓削商船同窓会 事務局	
		連絡先&HP	電話 0897-77-3000	HP <a href="http://www.yuge-kosen.com/">http://www.yuge-kosen.com/</a>
3	北斗会	住 所	〒933-0235 富山県射水市海老江練合1-2富山高等専門学校内	
		連絡先&HP	電話 0766-86-5105	HP <a href="https://www.toyama-hokutokai.net/">https://www.toyama-hokutokai.net/</a>
4	大島商船高専同窓会	住 所	〒742-2193 山口県大島郡周防大島町小松1091-1 大島商船高専内	
		連絡先&HP	電話 0820-74-5440	HP <a href="https://oshima-k.jp/">https://oshima-k.jp/</a>
5	鳥羽商船同窓会	住 所	〒517-0012 三重県鳥羽市池上町1-1 鳥羽商船高等専門学校内	
		連絡先&HP	電話 0595-25-8000	HP <a href="https://tobacmtdououkai.sakura.ne.jp/?page_id=634">https://tobacmtdououkai.sakura.ne.jp/?page_id=634</a>
6	株式会社コトシステム	住 所	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-12-13 日本橋耐佐ビル3階	
		連絡先&HP	電話 03-3245-6975	HP <a href="http://cotrasystem.com/">http://cotrasystem.com/</a>
7	北星海運株式会社	住 所	〒104-0031 東京都中央区京橋2-18-2	
		連絡先&HP	電話 03-3564-5050	HP <a href="http://www.hokuseikaiun.co.jp/index.html">http://www.hokuseikaiun.co.jp/index.html</a>
8	山友汽船株式会社	住 所	〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通2-1-1 2F多聞ラビット	
		連絡先&HP	電話 078-371-5505	HP <a href="http://www.sanyukisen.co.jp/index.html">http://www.sanyukisen.co.jp/index.html</a>
9	株式会社「バンド」エスケープライズ	住 所	〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通2丁目1-1	
		連絡先&HP	電話 078-361-6971	HP <a href="http://www.bands-k.com/index.html">http://www.bands-k.com/index.html</a>
10	株式会社SEALS	住 所	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町23番地日土地山下町ビル14階	
		連絡先&HP	電話 045-222-7866	HP <a href="https://seals-japan.co.jp/">https://seals-japan.co.jp/</a>
11	栗林商船株式会社	住 所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号新大手町ビル3階	
		連絡先&HP	電話 03-5203-7981	HP <a href="https://www.kuribayashishosen.com/">https://www.kuribayashishosen.com/</a>
12	名古屋メッキ工業株式会社	住 所	〒456-0033 愛知県名古屋市熱田区花表町16番11号	
		連絡先&HP	電話 052-882-5541	HP <a href="https://www.nagoya-mekki.com/">https://www.nagoya-mekki.com/</a>
13	八馬汽船株式会社	住 所	〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町74番地	
		連絡先&HP	電話 078-334-3914	HP <a href="https://www.hachiuma.co.jp/">https://www.hachiuma.co.jp/</a>
14	大四マリン株式会社	住 所	〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目2番16号田町イーストビル五階	
		連絡先&HP	電話 03-5439-0269	
15	NSユナイテッド内航海運株式会社	住 所	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアビル22階	
		連絡先&HP	電話 03-6895-6509	HP <a href="http://www.nsu-naiko.co.jp/">http://www.nsu-naiko.co.jp/</a>
16	大洋産業貿易株式会社	住 所	〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野1-7-8	
		連絡先&HP	電話 045-846-6300	HP <a href="http://www.tst-japan.com/page1">http://www.tst-japan.com/page1</a>
17	旭運輸株式会社	住 所	〒455-0032 愛知県名古屋市港区入船二丁目4番6号名港ビル	
		連絡先&HP	電話 052-651-1111	HP <a href="https://www.auk.co.jp/">https://www.auk.co.jp/</a>
18	鹿島港湾運送株式会社	住 所	〒314-0141 茨城県神栖市居切660-4	
		連絡先&HP	電話 0299-92-4891	HP <a href="http://www.kku.co.jp/">http://www.kku.co.jp/</a>
19	塩電港運株式会社	住 所	〒985-0000 宮城県塩竈市禎山通一丁目6番8号	
		連絡先&HP	電話 022-364-5111	HP <a href="http://shibgama-koun.co.jp/">http://shibgama-koun.co.jp/</a>
20	上野トランステック株式会社	住 所	〒135-0091 東京都港区台場2-3-2 台場フロンティアビル10階	
		連絡先&HP	電話 03-5500-3123	HP <a href="https://www.uyeno-group.co.jp/group/uyeno/">https://www.uyeno-group.co.jp/group/uyeno/</a>
21	株式会社 ウシオ	住 所	〒652-0813 兵庫県神戸市兵庫区兵庫町2-3-27	
		連絡先&HP	電話 078-652-2065	HP <a href="http://ushio-kk.co.jp/">http://ushio-kk.co.jp/</a>
22	株式会社ハマテクノサービス	住 所	〒260-0822 千葉県千葉市中央区蘇我2-2-25	
		連絡先&HP	電話 043-208-2600	
23	宮城マリンサービス株式会社	住 所	〒985-0011 宮城県塩竈市貞山通一丁目8番35号	
		連絡先&HP	電話 022-694-5601	HP <a href="http://www.miyagamarine.co.jp/">http://www.miyagamarine.co.jp/</a>
24	有限会社システムエンジニアリング	住 所	〒289-1223 千葉県山武市埴谷2225-73	
		連絡先&HP	電話 0475-89-3277	
25	日本ガスライン株式会社	住 所	〒790-0003 愛媛県松山市三番町12番地7三井住友海上松山三番町ビル6F	
		連絡先&HP	電話 089-931-8137	HP <a href="http://ngl.co.jp/">http://ngl.co.jp/</a>
26	日本栄船株式会社	住 所	〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通五番地商船三井ビル	
		連絡先&HP	電話 078-331-3625	<a href="https://nihon-eisen.co.jp/">https://nihon-eisen.co.jp/</a>
27	名阪船舶株式会社	住 所	〒552-0022 大阪府大阪市港区海岸通3-2-2	
		連絡先&HP	06-6572-6221	<a href="http://www.meihansenkaku.co.jp/">http://www.meihansenkaku.co.jp/</a>

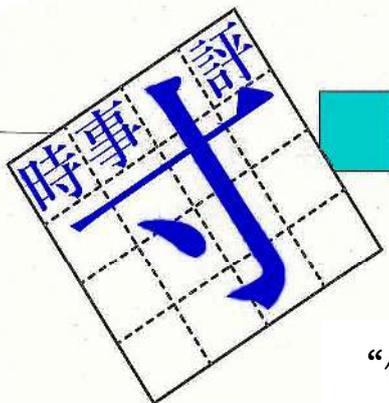
# 会費納入者芳名帳 (敬称略)

2019年4月1日～2019年7月31日

<b>2018年度分</b>	大阪湾水先区水先人会	藤川 政良	百合野 剛	周佐 智也	西山 英二
<b>4月入金</b>	終身会員	山口 智彦	平木 恵介	鬼塚夕季愛	橋本 三郎
本木 久也	山下 公弘	田村 孝夫	酒井 勇樹	新田 浩貴	木村 照孝
峰 遼太郎	齋藤 彰	山本 和之	濱松 直也	中玉利 治	木下 健
永守 徹	平野 雄一	和田 雅人	佐々木翔輝	坂 頼和	吉村 將造
渡邊 哲也	香田比呂志	藤井 仁	漁野 智洋	商船三井フェリー	村嶋 秀
大橋 泰夫	野崎 正則	枝次 真治	廣村 匡俊	富山 幸弥	中尾 登一
<b>5月入金</b>	森田 任紀	中塚 達也	濱田 祐司	薄井 雄基	港 明廣
黒木 修	荒木 新一	朝日 健二	松下 薫	廣瀬 潤一	山田 昌利
内中 豊	金山 聡	綱島 毅	河本 優	清水 洋平	宇高 保
<b>7月入金</b>	山友汽船	滝浦 文隆	中尾 拓弥	前田 龍弥	森脇 千秋
佐々木	望月 正信	竹原 敏宏	阿部 誠	内海水先区水先人会	井上 健二
<b>2019年度分</b>	松林 祐馬	栗原 誠	梅田 尚宏	本山 幹夫	松本 弘明
<b>1月入金</b>	北島 章市	橋口 靖生	染矢 真行	後藤 清治	上池 静夫
長谷川 雅俊	前田 重信	萩原 栄二	田川 寛大	河本 裕三	末吉 光郎
<b>4月入金</b>	川渕 仁	新田 真一	渡邊 真史	丹後 和美	小西 宏幸
西城 実	畠山 進	山本 真丈	早拍 隆太	島田 愛水	小山 健一
<b>5月入金</b>	仁藤 多喜男	鈴木 直也	溝渕真太郎	藤中 満	谷口 誠
志甫 裕	菊地 栄輝	寺西 尚平	杉野 智	吾妻 文雄	鹿渡 正次
濱西 博	長嶋 大介	迫間利紀人	越田 亘	辻 武志	田中 秀二
終身会員	村岡 稔	山下 育孝	JXオーシャン	新家谷 聡	齊藤 慶介
浦嶋 幸保	板谷 拓実	沖原 邦彦	浦川 修	山口 清	藤島 幸雄
<b>6月入金</b>	河田 英樹	片渕 敏之	本田 修	武藤 兼廣	大濱 啓司
共栄タンカー	田島 大己	山岡 宣之	秋元 光博	河合 謙太郎	能浦 勉
佐藤 好司	大坪 鴻介	宇佐見航一	須田 浩明	高濱 洋嘉	須佐美 智嗣
外谷 正彦	仁井岡友康	木元 孝憲	早崎 弘泰	倉本 修	由良 和久
石田健一郎	峰 遼太郎	徳山 公彦	西本 雅之	中村 充美	谷中 和泉
浦田 建	大平 翔真	福井 悟	二川 英樹	坂本 洋之助	大阪湾水先区水先人会
中野 寛士	高濱 慎太郎	柴山 隆史	勝木 輝明	矢野 清	大下 和義
小林 利萌	正池 隆斗	伊賀 勇治	出貝 孝洋	堀本 俊幸	佐尾 治作
出光タンカー	<b>7月入金</b>	児玉 賢志	古川 洋	松尾 和徳	中島 敏行
高野 清文	浅沼 裕	間島 崇夫	山田 隆二	中森 晴雄	習田 誠至
野間 虎三	小川 浄	金子 大輔	山中 亨子	末岡 民行	内海 真吾
瀬戸口義典	商船三井	大宅 理志	曾我部博弥	二宮 眞澄	西村 誠
有馬 功人	吉村 英昌	上井 博明	上澤 恒介	青山 保	池上 英二
中坂 勝史	浅田 幸一				
山本 一成					

## 賛助会員入金一覧

宮城マリンサービス株式会社  
 有限会社システムエンジニアリング  
 上野トランステック株式会社  
 日本栄船株式会社  
 株式会社ハマテクノサービス  
 日本ガスライン株式会社  
 名阪船舶株式会社



## “仮想通貨”

世の中の変化に付いて行くのが大変な時代に突入しました、特に現金を持ち歩かないキャッシュレス時代の到来です。フェイスブックのLIBRAは銀行システムそのものを変える可能性を秘めています。各国の中央銀行の慌て振りを見ていると感じられます。特にアメリカはUS\$で世界を牛耳っていますがLIBRAが流通すれば国境は無くなり、アメリカの影響力は小

さくなる事、必須です。然しながら仮想通貨は絶対に安心とは云い難い、一抹の不安は付き纏いますが。

20年前の1時間は、今では1分相当で処理されている時代となって来ました、真に“時は金なり”を表しています。そんな中、航海速度13ノットで大海原をゆっくりと進んで行くのも一考です。

(土屋 記)

### 表紙写真 桜島をバックに電飾中の練習帆船「海王丸」 撮影 堀ノ内 仁 氏

今回の表紙写真は、鹿児島港に入港し桜島をバックに電飾中の独立行政法人海技教育機構の大型練習帆船「海王丸」です。

本船の要目は概略次の通りです。

竣工年月日：1989年9月15日 総トン数：2,556G/T 全長：110.09m 全幅：13.80m 型幅：10.70m  
航海速度：13.00ノット、搭載人員：199名

### 編集後記

会報140号(前号)から掲載した“外航海運”に関して、先日開催した5校商船学科長会議の席上、某商船学科長より“外航海運”を教材として使用したと発言があり、ビックリでした、現在の外航海運を判り易く纏めたものでシリーズとして今後も掲載して行く予定です。

是非活用して頂きたいものです。

掲載内容に関しての御意見をお待ちいたします。どうぞ全船協宛てにメールでお知らせください。

(土屋 記)

全船協 No.141 夏季号

2019年8月発行

◇発行所：一般社団法人 全日本船舶職員協会 ◇編集兼発行人 土屋 正徳  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目32番地 金子ビル206号室  
TEL 03-3230-2651 FAX 03-3230-2653  
E-mail : [honbu@zensenkyo.com](mailto:honbu@zensenkyo.com) URL : <https://www.zensenkyo.com>

Tokyo Bay Licensed Pilots' Association

## 東京湾水先区水先人会

会長 船藏和久

本部 〒231-0023 横浜市中区山下町1番2 パイロットビル 代表 TEL (045) 650-3180 FAX(045) 663-4811

URL: <http://www.tokyobay-pilot.jp> オペレーション部 TEL (045) 681-4081 FAX(045) 681-4090  
TEL (045) 681-4091

東京事務所 〒108-0022 東京都港区海岸3丁目33番17号 TEL (03) 3453-1691 FAX(03) 3453-4025

千葉事務所 〒260-0023 千葉市中央区出洲港15番1号 TEL (043) 242-6391 FAX(043) 248-2553

木更津事務所 〒292-0836 木更津市新港8番5号 TEL (0438) 36-0700 FAX(0438) 36-4696

川崎事務所 〒210-0869 川崎市川崎区東扇島38番地1 602号室 TEL (044) 266-8877 FAX(044) 266-8877

横須賀事務所 〒239-0831 横須賀市久里浜8丁目10番6号 TEL (046) 835-5709 FAX(046) 835-4977



## 内海水先区水先人会

Licensed Inlandsea Pilots' Association

会長 末岡民行

〒650-0042

神戸市中央区波止場町5番4号中突堤中央ビル4階

電話 (078) 332-7191 FAX (078) 391-7157

E-MAIL [info@inlandsea-pilots.jp](mailto:info@inlandsea-pilots.jp)

・海技教育支援事業 ・奨学金事業  
・帆船海王丸体験航海事業 等

## 公益財団法人 海技教育財団

会長 朝倉次郎

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4

電話 (03) 3288-0991 URL <http://www.macf.jp>



## 伊勢三河湾水先区水先人会

ISE-MIKAWA WAN PILOTS' ASSOCIATION

会長 上原 雅

〒475-0831 愛知県半田市11号地1番5

電話 (0569) 23-0713

## 関門水先区水先人会

会長 橋本 敏道

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目4番24号

電話 (093) 332-2384(代)

## 鹿島水先区水先人会

会長 郡 茂典

〒314-0052 茨城県神栖市居切1909-16

電話 (0299) 82-5515

FAX (0299) 82-6205

平成19年第9回グリーン購入大賞優秀賞  
平成21年第3回ものづくり日本大賞優秀賞  
平成22年資源循環技術・システム表彰  
平成23年第1回エコマークアワード奨励賞

広域認定事業所 株式会社おぎぞ

会長 小木曾 順務

〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町1468

電話 0572-59-8639 FAX 0572-59-4546

漁船士官の経験を活かし10年前食器中のポリサイトを資源化しエコマーク付きの給食用磁器食器を開発し全国展開。この実績を踏まえ、今年度新選奨事業（経産省補助）で「高FETボトルを自主回収しFET食器を製造販売する事業」で認定を受け事業展開に入る。ご支援をお願いします。

海と港の仲間の福祉をめざす!!

## 一般社団法人 横浜海洋福祉協会

代表理事会長 相川 康明

〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1 大棧橋総合ビル2F

電話 045-201-0882 FAX 045-201-1083

URL: <http://www.kfk.yokohama.com>

# 海上物流を支える若者たち

— 内航海運と船員のいまを知る —



物流インフラとして、そして災害時などの安全の確保に重要な役割を果たしている内航海運だが、その知名度は低い。

本書は、居住・通信環境の改善がすすみ、女性の進出も増えている内航船の世界を、様々な船種で働く若い人々への取材に基づくルポや、海運会社、教育機関などのキーマンへのインタビューを通じて紹介する。

森隆行 著

A5判 158頁 定価(本体1,600円+税)

〒112-0005 東京都文京区水道 2-5-4  
TEL 03-3815-3291 FAX 03-3815-3953

海文堂出版

<http://www.kaibundo.jp/>  
e-mail: hanbai@kaibundo.jp



## 海事関係の皆様へ

ご宿泊からご宴会・会議等各種会合まで、  
海事関係の皆様から船乗り達が集う憩いの場所として親しまれております。

海事関係のお客様は全日本海員組合の組合員のご紹介があれば  
特別価格にてご利用いただけます

HOTEL  
Mariners' Court TOKYO

ホテルマリンコート東京 〒104-0053 東京都中央区晴海 4-7-26 TEL:03-5560-2525 (代表)

### 宿泊設備(海員会館)のご案内

ご宿泊・お食事・ご会合に、どなたでもご利用頂けます。

ナビオス横浜



1階 レストラン

RESTAURANT  
Ocean

※写真はイメージです。

ナビオス横浜



3階 バーラウンジ

Seamen's Club



ナビオス横浜  
International Seamen's Club & Inn  
TEL: (045) 633-6000

川崎海員会館 TEL: (044) 233-5896

エスカル横浜 TEL: (045) 681-2141

エスカル神戸 TEL: (078) 341-0112

一般財団法人日本船員厚生協会 (045) 319-4506

ホームページ <https://www.jswa.or.jp>



■ センポスの宿・健康診断 ■

一般財団法人

## 船員保険会

会長 霜鳥 一彦

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6

SEMPOSビル 6・7階

電話 (03) 3407-6061 FAX (03) 3407-6597

URL <http://www.sempos.or.jp>

## 清水水先区水先人会

会長 中村 政一

副会長 日比野 雅彦

〒424-0922 静岡県清水区日の出町10番80号

清水マリナーズミナール3F

電話 (054) 352-2191

FAX (054) 351-0527